



平成19年度 事業報告書

- I 法人の概要
- II 事業の概要
- III 財務の概要

I 法人の概要

1	建学の精神	4
2	沿革	5
3	法人組織機構図	6
4	役員	7
5	学長・学部長・病院長・校長	7
6	教職員数	8
7	土地および建物	9
8	設置する学部・学校	11
	(1) 概要	11
	(2) 入学試験、国家試験、卒業後進路等の状況	20
	(3) 外部資金の獲得状況	32
9	附属病院	34
	(1) 概要	34
	(2) 診療科別入院・外来患者数	35
	(3) 診療収入	41
	(4) 過去5年間の推移	42

II 事業の概要

	事業の方針	44
1	教育	44
	(1) 入学志願者および優秀な学生生徒の確保	44
	(2) 国家試験合格率の高位安定化	44
	(3) 教学環境の整備	44
	(4) 6年制移行に伴う薬学部教育	45
	(5) 大学院医学研究科規程の一部改正並びに長期履修学生内規制定	45
2	研究	46
	(1) がんプロフェッショナルプロジェクト	46
	(2) オープン・リサーチ・センター	46
	(3) ハイテク・リサーチ・センター	46

3	医療	47
	(1)佐倉病院新棟の竣工	47
	(2)大森病院の再整備	47
	(3)各診療科におけるホームページサイトの整備と充実	47
4	管理運営	48
	(1)医学部機構改革の推進	48
	(2)大学教員評価制度の推進	48
	(3)薬学部の周年事業	49
	(4)ブランディングプロジェクトの推進	49
	(5)株式会社東邦キャンパスサービス	49

Ⅲ 財務の概要

1	消費収支決算の概要	52
2	消費収支決算の推移	55
	(1)帰属収入の推移	55
	(2)消費支出の推移	56
3	設備投資等	57
4	キャッシュフロー計算書	58
5	貸借対照表	59
	(1)貸借対照表	59
	(2)貸借対照表の推移	60
	(3)主要財務比率の動向	61
6	財産目録	62
	学校法人東邦大学所在地一覧	63
	キャンパス案内図	64

I 法人の概要

1 建学の精神

「自然・生命・人間」

人生はわれらの内心の表現であり
日々の行為はわれらの内心の絶え間ない現われである
それゆえ心の持ち方ほど大切なものはない

何のために自然と人生を探求するのであるか
何のために自分を反省するのか
それは人間らしく生きたいからである

いかに理知に富んでいても
しっかりした人生の目標がなく
ただその日その日を過ごしていたならば
ちょうど かががなくて航海する船のようなものである

人間は人間だけで生きているのではない
われわれのまわりには山あり川あり
草あり木あり あらゆるものがある
その中に人間として生をうけたのである

人間はもともと大自然の一部として
自然界のうちに生き
大自然のうちに生命を託しているのである

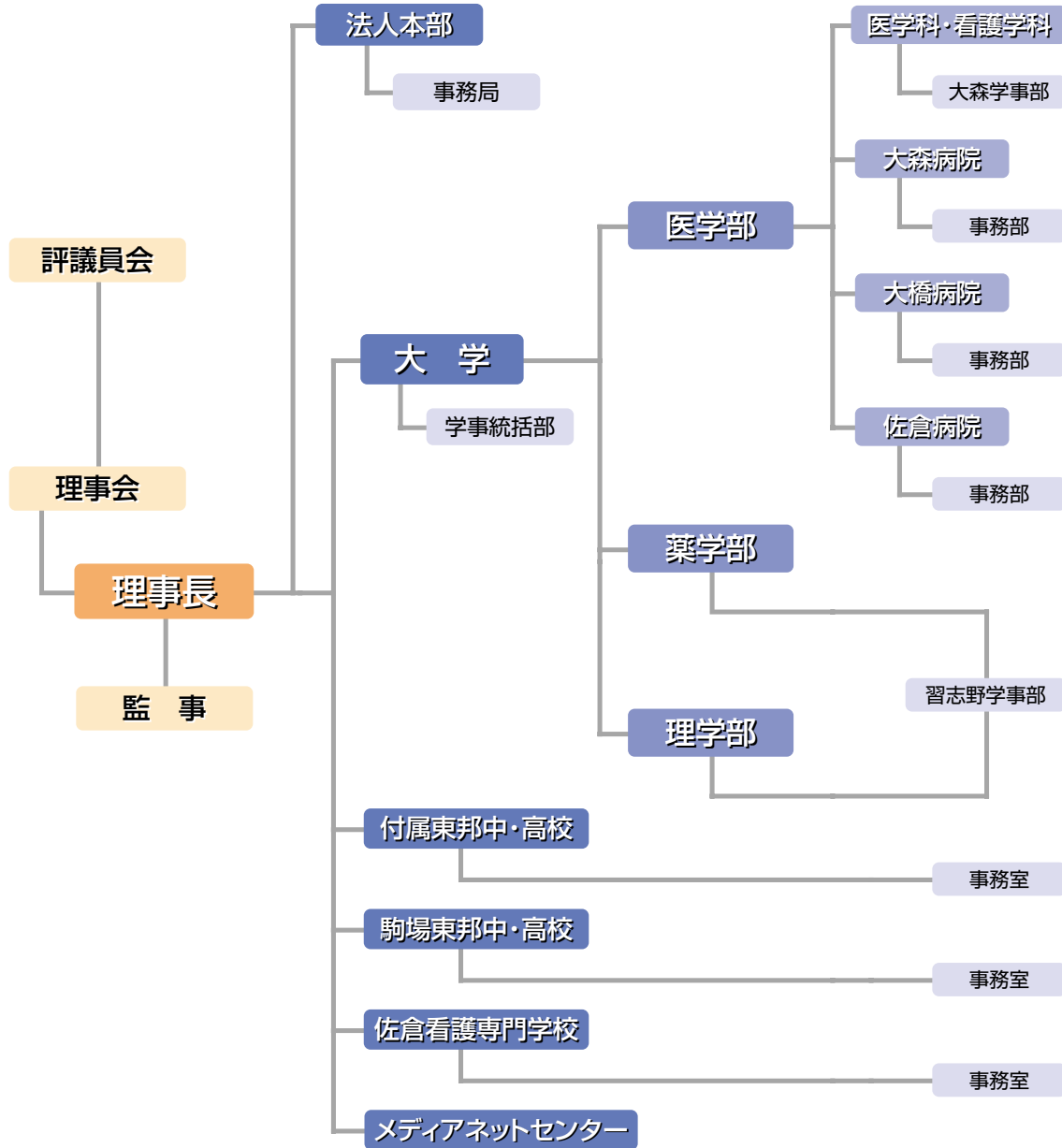
幽玄をきわめた大自然のうちに一身をゆだねて
心ゆくばかりその霊妙な情調を経験するときほど
人間は幸福な祝福にみちた時はない

額田晉（1957年著）『自然・生命・人間』より

2 沿革

大正14年	1925	帝国女子医学専門学校 開設 帝国女子医学専門学校付属病院 開設
昭和2年	1927	帝国女子医学専門学校に薬学科を増設 帝国女子医学専門学校付属看護婦養成所 開設
昭和16年	1941	帝国女子理学専門学校 開設
昭和26年	1951	医科、薬科、理科専門学校を総称して東邦大学とし、それぞれ医学部、薬学部、理学部と改称
昭和27年	1952	東邦大学付属東邦高等学校 開設
昭和32年	1957	駒場東邦中学校 駒場東邦高等学校 開設
昭和34年	1959	東邦大学大学院医学研究科 開設
昭和36年	1961	東邦大学付属東邦中学校 開設
昭和39年	1964	東邦大学医学部付属大橋病院 開設
昭和40年	1965	東邦大学医学部付属高等看護学校 開設
昭和54年	1979	東邦大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程 開設 (博士課程：昭和56年開設)
昭和57年	1982	東邦大学大学院理学研究科化学・生物学専攻修士課程 開設 (化学・生物学専攻博士課程：昭和59年開設) (物理学専攻修士・博士課程：昭和61年・63年開設) (生物分子科学専攻 情報科学専攻修士・博士課程：平成5年・7年開設)
昭和60年	1985	東邦大学医療短期大学看護学科 開設
平成3年	1991	東邦大学佐倉看護専門学校 開設 東邦大学医学部付属佐倉病院 開設
平成14年	2002	東邦大学医学部看護学科 開設
平成18年	2006	東邦大学大学院医学研究科医科学および看護学専攻修士課程 開設 東邦大学薬学部薬学科（6年制） 開設

3 法人組織機構図



4 役員

平成20年3月31日現在

理事長	伊藤元博	東邦大学名誉教授
理事	青木継稔	学長
常務理事	笹川義弘	(財務・施設担当)
常務理事	磯野信行	(総務・人事担当)
理事	黒田優	医学部長
理事	井手速雄	薬学部長
理事	小野嘉之	理学部長
理事	山崎純一	大森病院院長
理事	秋山尚功	付属東邦中・高等学校校長
理事	丸山優	医学部教授
理事	加藤文男	薬学部教授
理事	大島範子	理学部教授
理事	柴田家門	東邦大学名誉教授
理事	福武勝彦	薬学部卒業生
理事	加藤尚之	医学部准教授
理事	炭山嘉伸	医学部教授
監事	都丸信	公認会計士
監事	西込明彦	弁護士

5 学長・学部長・病院長・校長

平成20年3月31日現在

学長	青木継稔
医学部長	黒田優
薬学部長	井手速雄
理学部長	小野嘉之
大森病院院長	山崎純一
大橋病院院長	甲田英一
佐倉病院院長	白井厚治
付属東邦中・高等学校校長	秋山尚功
駒場東邦中・高等学校校長	渡邊俣充
佐倉看護専門学校校長	拜原優子

6 教職員数

教員

平成19年5月1日現在

	教授	准教授	講師	助教	計
医学部	97	60	99	247	503
薬学部	23	12	20	14	69
理学部	54	34	16	1	105
合計	174	106	135	262	677

教職員総合計

3,543人

(常勤嘱託・再雇用・非常勤職員は除く)

	教 諭		講 師		専任教員	計	非常勤講師	
	中学	高校	中学	高校			中学	高校
付属東邦中高校	38	53	6	4		101	11	17
駒場東邦中高校	38	40	0	1		79	20	9
佐倉看護専門学校					13	13		
合計	76	93	6	5	13	193	31	26

職員

	事務	技術	医療技術	看護	技能	その他	計
法人本部	45			2			47
学事統括部	10						10
医学部	8	21		1			30
大森学事部	24					1	25
大森病院	110		240	998	16	2	1,366
大橋病院	66		131	435		2	634
佐倉病院	72		68	325	1		466
薬学部	1				1		2
理学部		3					3
習志野学事部	38			1			39
付属東邦中高校	7	1					8
駒場東邦中高校	7						7
佐倉看護専門学校	3						3
メディアネットセンター	33						33
合計	424	25	439	1,762	18	5	2,673
主な内訳	事務員 327人 司書 25人 その他 72人	技術員 18人 研究 補助員 6人 理科 実験助手 1人	薬剤師 92人 放射線 技師 83人 臨床 検査技師 145人 栄養士 33人 その他 86人	看護師 1,657人 准看護師 16人 看護 補助員 89人	電話 交換手 9人 保育員 8人 園芸 技術員 1人	用務員 5人	

※常勤嘱託職員、再雇用職員、非常勤職員は除く。

7 土地および建物

土地

(単位：m²)

	所 在	面 積	使 途 内 訳			
			校 舎	運 動 場	付 属 病 院	そ の 他
医 学 科	大田区大森西5	24,247.02	18,549.56	2,132.00	3,510.78	54.68
看 護 学 科	大田区大森西4	3,359.77	3,359.77			
大 森 病 院	大田区大森西6	22,818.89			22,286.95	531.94
保 育 園	大田区大森西5	193.34				193.34
大 橋 病 院	目黒区大橋2	8,762.53	311.32		7,345.45	1,105.76
佐 倉 病 院	佐倉市下志津564	40,444.00			39,984.82	459.18
薬 学 部	船橋市三山2	33,549.12	16,759.79			16,789.33
理 学 部	◇	13,662.33	13,662.33			
薬学部・理学部共用	◇	80,959.21	27,072.96	53,886.25		
東 邦 中 高 校	習志野市泉町2	50,948.95	25,860.46	25,088.49		
駒 場 中 高 校	世田谷区池尻4	20,037.02	10,692.01	9,345.01		
佐倉看護専門学校	佐倉市下志津292-13	4,835.00	4,282.69			552.31
大学寄宿舍(男)	習志野市泉町2	2,598.38	1,787.08			811.30
大学寄宿舍(女)	船橋市三山2	4,494.00	3,509.25			984.75
軽 井 沢 山 荘	長野県軽井沢町	6,611.57				6,611.57
計		317,521.13	125,847.22	90,451.75	73,128.00	28,094.16

- (注) 1. 校舎用地には、厚生・体育館・図書館を含む。
 2. その他は、実習地・寄宿舍・看護師宿舎を含む。
 3. 所有地 316,482.26m² (貸地 110.68m²含む)
 4. 借 地 1,038.87m²

建物

(単位：m²)

	棟数	面積	使 途 内 訳			
			校 舎	体育施設	付属病院	その他
医 学 科	16	39,588.87	36,978.21	2,068.39	542.27	
看 護 学 科	5	7,101.16	7,101.16			
大 森 病 院	16	72,281.55	1,786.10		64,759.12	5,736.33
保 育 園	1	301.15				301.15
大 橋 病 院	14	28,577.57	4,323.60		22,110.14	2,143.83
佐 倉 病 院	9	49,001.54	1,173.19		37,995.10	9,833.25
薬 学 部	21	27,493.12	27,493.12			
理 学 部	13	33,582.10	33,582.10			
薬学部・理学部共用	27	16,294.99	14,399.57	1,895.42		
東 邦 中 高 校	25	28,420.88	22,277.63	6,143.25		
駒 場 中 高 校	7	17,631.61	13,993.51	3,638.10		
佐倉看護専門学校	4	4,193.08	1,926.24	264.88		2,001.96
大学寄宿舍(男)	1	1,799.50				1,799.50
大学寄宿舍(女)	3	2,208.75				2,208.75
軽井沢山荘	3	276.20				276.20
計	165	328,752.07	165,034.43	14,010.04	125,406.63	24,300.97

- (注) 1. 校舎とは、講義室・実験室・研究室・図書館・管理厚生関係を含む。
 2. その他とは、寄宿舍・看護師宿舎・その他を含む。
 3. 大橋病院校舎には、賃借 2,084.84 m²を含む。

8 設置する学部・学校

(1) 概要

① 大学

1925（大正14）年、額田豊・額田晉両先生は、女子の医学・薬学・理学という理科系教育の向上と健全な人間性の育成を目標として、私財を投じてまず帝国女子医学専門学校を大森地区（現在の医学部医学科所在地）に創設した。翌年薬学科を増設し、1941（昭和16）年に帝国女子理学専門学校を併設した。これが現在の東邦大学の前身である。

1945（昭和20）年4月の戦禍により施設が焼失したため、1946（昭和21）年帝国女子医学薬学専門学校薬学科及び理学専門学校は大森の地から千葉県習志野に移転し、翌年名称も東邦と改めた。さらに学制の改革に伴い、1950（昭和25）年より医・薬・理3学部を有する男女共学の自然科学系総合大学として再発足した。その後今日まで、わが国の自然科学教育に重要な役割を果たしてきた。現在3学部とともに大学院3研究科、3病院を有し、研究・診療面においても多くの実績をあげている。

東邦大学の教育は、創立者のひとり額田晉先生の著書『自然・生命・人間』に記されているように、自然に対する畏敬、生命の尊厳の自覚、人間の謙虚な心を原点として、豊かな人間性と均衡のとれた知識を有する人材の育成を目標としている。これに基づき、各学部それぞれに特色を持った目標を掲げ、施設・設備の充実、優秀な教員の登用などにより、時代の要請に応じたより高度な教育・研究体制を整備しながら目標達成に努めている。



○ 大森キャンパス (医学部)

医学科 東京都大田区大森西5-21-16

TEL 03-3762-4151

看護学科 東京都大田区大森西4-16-20

TEL 03-3762-9881

医学部には帝国女子医学専門学校以来の伝統を受け継ぐ医学科と、2002年に東邦大学医療短期大学から改編・開設された看護学科が設置されている。「良き医療人の育成」を教育理念とし、医療チームの一員として問題を自ら見つけ出し、考えて判断を下し、そしてそれを解決する能力を持った医師や看護師を育てている。

また近年の高度化・多様化する医療現場に対応するため、将来にわたる自己研鑽の基礎づくりを行うことに力を注いでいる。



医学科



看護学科

○習志野キャンパス（薬学部・理学部）

千葉県船橋市三山2-2-1

TEL 047-472-0666

薬学部

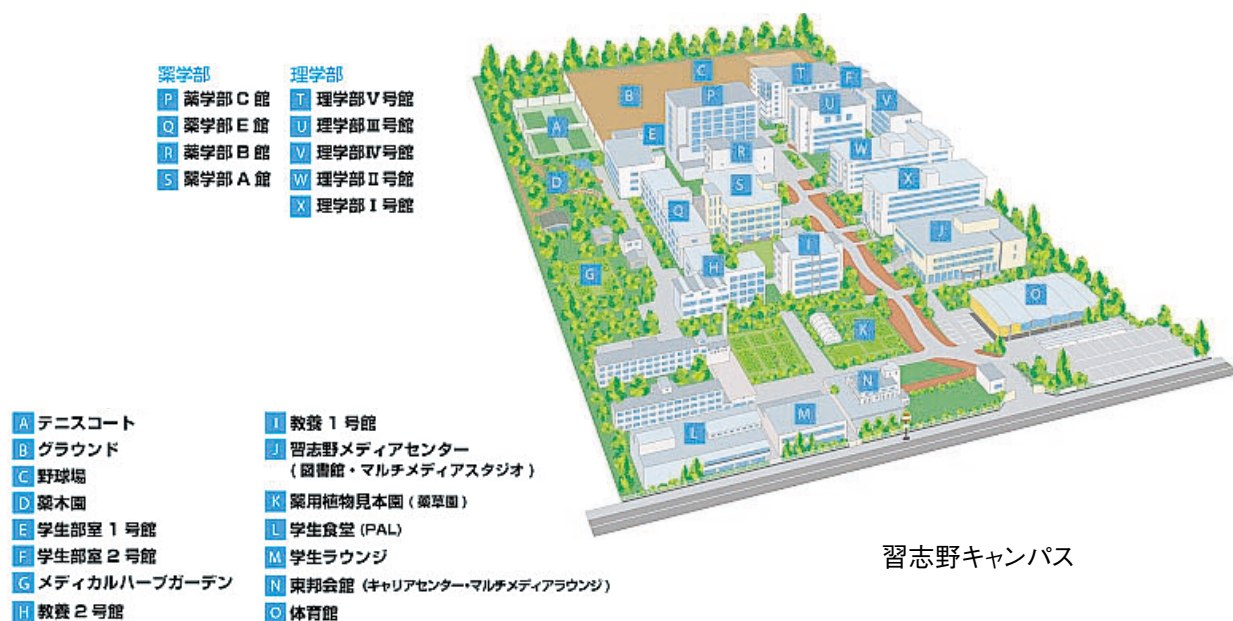
薬学部では「人々の健康に責任をもつ医療薬学の担い手」を育てることを目指し、従来の調剤中心の薬剤師だけでなく、医師・看護師とともにチーム医療に当たる臨床薬剤師の育成に大きな力を注いでいる。薬剤師法改正による6年制への移行にいち早く対応し、医学部や附属病院との連携による病院実習やカリキュラムの充実を図っている。

理学部

理学部では化学科、生物学科、物理学科という基本的な3学科、そして生物分子科学科と情報科学科、生命圏環境科学科という応用面も視野に入れた3学科、さらに教養科も備え、専門性と人間性を備えた研究者、科学技術者を育成している。

各分野の基礎から応用までをバランス良く指導するとともに、研究室を中心に教員と学生が深く関わりながら教育・研究を進め、学生の問題解決能力を養っていくところが大きな特徴である。

また、本学医学部や薬学部、外部研究機関との連携による教育・研究にも積極的に取り組んでいる。



習志野キャンパス



薬学部



理学部

学生数

平成19年5月1日現在

区 分		学 年						合 計	
		1	2	3	4	5	6		
大 学	医学部	医 学 科	107 (41)	104 (37)	103 (42)	108 (33)	92 (36)	106 (40)	620 (229)
		看 護 学 科	115 (104)	118 (102)	98 (90)	112 (106)	—	—	443 (402)
		小 計	222 (145)	222 (139)	201 (132)	220 (139)	92 (36)	106 (40)	1,063 (631)
	薬学部	薬 学 科 (6年制)	238 (150)	244 (141)	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	482 (291)
		薬 学 科 (4年制)	0 ()	8 (2)	258 (151)	270 (181)	—	—	536 (334)
		衛生薬学科 (4年制)							
		小 計	238 (150)	252 (143)	258 (151)	270 (181)	0 ()	0 ()	1,018 (625)
	理学部	化 学 科	94 (36)	90 (30)	85 (38)	95 (37)	—	—	364 (141)
		生 物 学 科	112 (52)	110 (61)	75 (34)	102 (53)	—	—	399 (200)
		生 物 分 子 科 学 科	108 (76)	107 (56)	77 (41)	102 (52)	—	—	394 (225)
		物 理 学 科	86 (13)	72 (10)	76 (11)	83 (11)	—	—	317 (45)
		情 報 科 学 科	119 (23)	125 (30)	103 (22)	113 (30)	—	—	460 (105)
		生 命 圏 環 境 科 学 科	82 (33)	92 (34)	61 (30)	0 ()	—	—	235 (97)
		小 計	601 (233)	596 (221)	477 (176)	495 (183)	—	—	2,169 (813)
大学合計		1,061 (528)	1,070 (503)	936 (459)	985 (503)	92 (36)	106 (40)	4,250 (2069)	

() は女子内数

②大学院

東邦大学大学院は、医学研究科が1959（昭和34）年、薬学研究科が1979（昭和54）年、理学研究科が1982（昭和57）年にそれぞれ設置された。修士・博士の学位をもつ者にふさわしい豊かな心と見識をもち、新しい時代に活躍する独創的な人材を育成する教育環境づくりを行っている。

医学研究科・・・博士課程

医科学専攻修士課程

看護学専攻修士課程

薬学研究科・・・医療薬学専攻（修士・博士）

理学研究科・・・化学専攻（修士・博士）

生物学専攻（修士・博士）

生物分子科学専攻（修士・博士）

物理学専攻（修士・博士）

情報科学専攻（修士・博士）

学生数

平成19年5月1日現在

区 分 \ 学 年		学 年				合 計
		1	2	3	4	
大 学 院	医学研究科（修士）	12（9）	15（13）	—	—	27（22）
	医学研究科（博士）	34（12）	24（10）	38（11）	21（4）	117（37）
	薬学研究科（修士）	42（25）	43（18）	—	—	85（43）
	薬学研究科（博士）	5（0）	8（2）	6（1）	—	19（3）
	理学研究科（修士）	82（25）	84（29）	—	—	166（54）
	理学研究科（博士）	8（3）	13（2）	18（5）	—	39（10）
大学院合計		183（74）	187（74）	62（17）	21（4）	453（169）

（ ）は女子内数

③東邦大学付属東邦中・高等学校

1952(昭和27)年4月、最初の付属学校として、東邦大学付属東邦高等学校が習志野西地区に開校、1961(昭和36)年4月東邦大学付属東邦中学校が併設された。その後、東邦大学理学部との校地交換により1973(昭和48)年9月東地区に新築された新校舎に移転するとともに、年々生徒に活気がみなぎり、学校の評価も高まっている。1995(平成7)年3月に特別教室棟及び第二体育館を、さらに2005(平成17)年7月にはセミナー館を新築した。また、2006(平成18)年8月に中・高校棟の耐震補強工事を実施し、生徒の安全確保に努めた。創立者による「自然・生命・人間」を建学の理念として掲げて、志と質の高い教育実践に努めている。

千葉県習志野市泉町2-1-37
TEL 047-472-8191



教育方針

1. 「自然・生命・人間」の尊重を建学の精神とする東邦大学の付属校として、生徒、教師、保護者相互の理解と信頼により、自然を畏敬し、生命を尊び、心の向上を目指す明るい学園を築く。
2. 中・高6か年一貫の教育課程を編成し、精選した学習内容と多様な学習活動を通じて、真に豊かな学力を培う。
3. 真理と人生への高い志を持ち、不断の自己鍛錬と謙虚な自己省察により、自らの可能性の開発に努める若人を育てる。
4. 友情と思いやりを深め、公共心を高め、自主・自律的な質の高い集団を目指す。
5. 日本文化への深い理解と国際的な視野を持ち、地球の平和に貢献できる有為な若人を育てる。

生徒数および学級数

平成19年5月1日現在

学 年	中 学				高 校				総 数	
	1	2	3	計	1	2	3	計		
学 級 数	9	7	7	23	11	9	9	29	52	
生徒数	男	230	199	165	594	279	235	195	709	1,303
	女	141	94	114	349	158	137	148	443	792
計	371	293	279	943	437	372	343	1,152	2,095	

④ 駒場東邦中・高等学校

1956(昭和31)年、当時の理事長兼学長の額田豊博士と元日比谷高等学校長菊地龍道との抱負の一致により、初代校長菊地龍道(昭和41年8月20日逝去)のもとに、1957(昭和32)年4月、18名の職員と約300名の生徒とで発足。現在、豊かな知性と人間性を育む中高一貫教育の地道な実践により、種々の面で多くの成果をあげている。

東京都世田谷区池尻4-5-1
TEL 03-3466-8221



教育方針

生徒・教師・父母三者相互の理解と信頼とによって、明るく楽しい学園を造り、生徒各自の個性を伸ばし、能力を高め、豊かな知性と科学的教養を身につけた、健康で実践力に富む有為な人間を育成する。

指導方針

1. 中学・高校の教材を有機的かつ系統的に整理し、6か年の一貫教育によって学習を能率化し、教育効果をあげるとともに特別活動・クラブ活動の充実を図り、魅力ある青年の育成に努める。
2. 英語・数学・理科実験においては、学習効果をあげるため、学年によって一学級を分割し、少数教育を行い、さらに英語教育の推進のために外国人教師を導入し、コミュニケーション能力の充実を図る。
3. 高学年においては生徒の適正・能力・希望に応じて、進学志望別に教育課程を編成するなど進路指導の充実を図る。
4. 一人ひとりの実践力・創造力・判断力などを養うために、日々の積み重ね学習と規律ある生活態度とを重んずる教育に努める。

生徒数および学級数

平成19年5月1日現在

学 年	中 学				高 校				総 数
	1	2	3	計	1	2	3	計	
学 級 数	6	6	6	18	5	5	5	15	33
生 徒 数	241	239	241	721	237	236	231	704	1,425

⑤ 東邦大学佐倉看護専門学校

本校は、本学佐倉病院事業計画の一環として、東邦大学医学部附属佐倉病院の設置(1991(平成3)年9月開院)とともにその隣接地に設置され、1991(平成3)年4月に開校した。

本校卒業生は、本学附属病院の安定的な看護師確保、ひいては佐倉市及びその周辺地域の医療の充実に努めるものとして大いに活躍が期待され、既に卒業生は561名を数えた。

1995(平成7)年1月から卒業認定者には、専門士(医療専門課程)の称号が授与されることとなった。2006(平成18)年4月に開校15周年を迎えた。

千葉県佐倉市下志津292-13
TEL 043-462-8811



教育理念

本校は、東邦大学の建学の精神を基盤にして、豊かな自然環境の中で、人間の『生きる』ことや『生命の尊厳』について考え、調和のとれた人を育むことをめざしている。

また、変化する社会の中で看護専門職業人として、人々のニーズに対応できる能力・創造的に看護実践できる能力を養い、保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。

教育目的

看護の専門職業人として必要な知識、技術、態度を教授し、社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

教育目標

- ・ 生命の尊厳の理念に基づき、看護の対象である人間を統合的に理解する能力を養う。
- ・ 自己を理解するとともに他者を理解し、視野の広い心身ともに調和のとれた健康な人間の育成を図る。
- ・ 対象に応じた健康上の問題発見ができ、その解決策と実践評価できる基礎的能力を育成する。
- ・ 保健医療チームの一員として他職種と協調し、主体的に看護の役割が果たせる能力を養う。
- ・ 看護の専門職業人として自己の能力を適正に評価し、生涯学習が継続できる能力を養う。

卒業後の資格取得

看護師国家試験受験資格。保健師学校受験資格。助産師学校受験資格。

学生数

平成19年5月1日現在

学科 \ 学年	1年	2年	3年	合計
看護科 (3年課程)	50	48	28	126

⑥メディアセンター

○図書・雑誌蔵書数

平成20年3月31日現在

	図 書			雑 誌(誌数)			電 子 ジャーナル
	和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計	
医学メディアセンター	154,689	102,239	256,928	1,042	580	1,622	3,974
習志野メディアセンター (薬・理学部)	119,441	79,156	198,597	1,144	1,065	2,209	
合 計	274,130	181,395	455,525	2,186	1,645	3,831	

○平成19年度利用状況

	開館日数	貸 出		入館者数
		冊 数	人 数	
医学メディアセンター	287	6,817	4,484	122,814
習志野メディアセンター (薬・理学部)	347	25,403	15,866	218,217

○平成19年度相互貸借利用状況

	貸 (他より依頼)	借 (他へ依頼)
医学メディアセンター	8,468	2,017
習志野メディアセンター (薬・理学部)	1,009	1,142

(注) (1)の蔵書数には大橋病院図書室、佐倉病院図書室、看護学科図書室を含む。

(2),(3)は医学メディアセンター(大森)のみ

(2) 入学試験、国家試験、卒業後進路等の状況

① 学生生徒定員・在籍者数・卒業生・志願者・入学者

() は女子内数

区分 学部・校		入学定員	(注1) 収容定員	在籍者数 (平成19年5月1日現在)	平成19年度 卒業・修了生数	平成20年度			
						志願者数	入学者数		
大 学 院	医学研究科(修士)	17	34	27 (22)	15 (13)	15 (12)	13 (11)		
	医学研究科(博士)	23	92	117 (37)	(注2) 13 (4)	36 (12)	33 (11)		
	薬学研究科(修士)	50	100	85 (43)	42 (17)	78 (33)	63 (27)		
	薬学研究科(博士)	5	15	19 (3)	6 (1)	2 (1)	2 (1)		
	理学研究科(修士)	81	162	166 (54)	(注3) 75 (27)	97 (26)	(注4) 69 (23)		
	理学研究科(博士)	21	63	39 (10)	(注5) 13 (3)	2 (1)	2 (1)		
	大学院合計	197	466	453 (169)	164 (65)	230 (85)	182 (74)		
大 学	医 学 部	医学科	100	600	620 (229)	100 (40)	1,818 (692)	100 (36)	
		看護 学科	1年次	100	400	443 (402)	(注6) 110 (104)	607 (560)	110 (101)
			3年次編入	5	10			25 (25)	4 (4)
	薬 学 部	薬学科 (6年制)	220	1,320	482 (291)	—	2,164 (1,260)	250 (162)	
		薬学科 (4年制)	—	—	536 (334)	(注7) 159 (101)	—	—	
		衛生薬学科 (4年制)	—	—		(注8) 98 (74)			
	理 学 部	化 学 科	80	320	364 (141)	(注9) 91 (36)	1,164 (428)	134 (46)	
		生 物 学 科	80	320	399 (200)	(注10) 97 (53)	1,141 (470)	(注11) 99 (45)	
		生物分子科学科	80	320	394 (225)	(注12) 93 (48)	782 (421)	86 (57)	
		物 理 学 科	70	280	317 (45)	(注13) 70 (11)	530 (105)	84 (19)	
		情報科学科	100	400	460 (105)	(注14) 101 (29)	633 (135)	124 (25)	
		生命圏環境 科学科	80	320	235 (97)	—	634 (237)	84 (33)	
	大学合計		915	4,290	4,250 (2,069)	919 (496)	9,498 (4,333)	1,075 (528)	
	中 ・ 高	付属東邦	高等学校	368	1,104	1,152 (443)	345 (149)	1,290 (466)	354 (138)
中学校			270	810	943 (349)	279 (114)	2,848 (1,081)	260 (90)	
駒場東邦		高等学校	250	750	704	231	—	236	
		中学校	250	750	721	240	677	240	
佐倉看護専門学校		40	120	126 (120)	27 (27)	169 (147)	44 (43)		
合 計		2,290	8,290	8,349 (3,150)	2,205 (851)	14,712 (6,112)	2,391 (873)		

(注1) 完成年度に達していない課程・学科については、完成年度の収容定員とした。

(注2) 満期退学者4(0)名を含む。

(注3) 平成19年9月秋修了生3(2)名を含む。

(注4) 平成19年度秋入学生1(1)名を含む。

(注5) 満期退学者4(0)名を含む。

(注6) 平成19年9月秋卒業生1(1)名を含む。

(注7) 平成19年9月秋卒業生11(7)名を含む。

(注8) 平成19年9月秋卒業生3(3)名を含む。

(注9) 平成19年9月秋卒業生1(0)名を含む。

(注10) 平成19年9月秋卒業生7(4)名を含む。

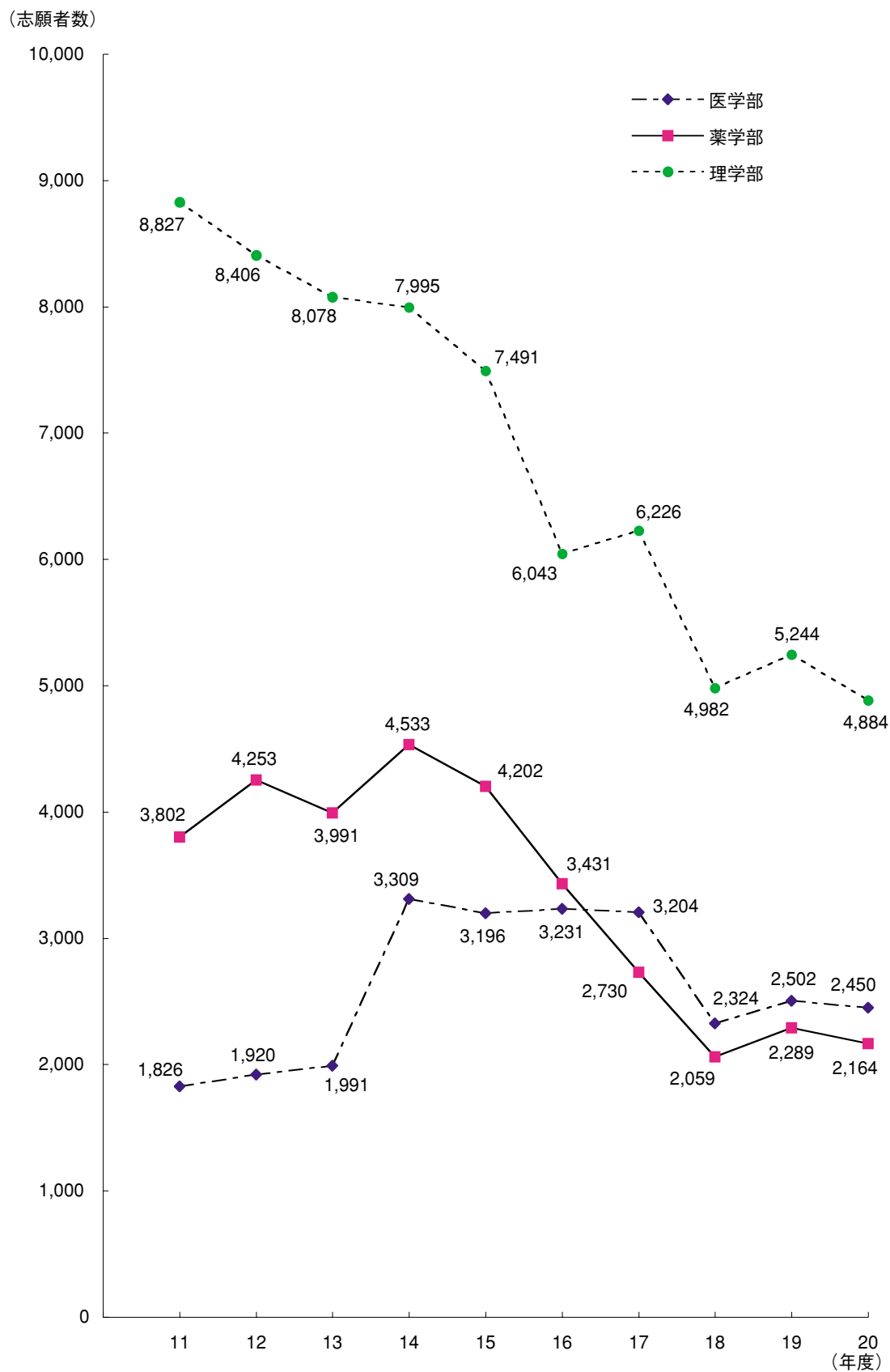
(注11) 平成19年度秋入学生1(0)名を含む。

(注12) 平成19年9月秋卒業生1(1)名を含む。

(注13) 平成19年9月秋卒業生3(0)名を含む。

(注14) 平成19年9月秋卒業生2(0)名を含む。

② 3 学部志願者数の推移（過去 10 年間）



注：医学部は平成14年度より看護学科を含む。理学部は平成17年度より生命圏環境科学科を含む。

③学納金

(単位：円)

学 部 ・ 校		区 分	受験料	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費
大 学 院	医学研究科 修士課程	医科学専攻	30,000	100,000	500,000	0	100,000 2年次も同額
		看護学専攻	30,000	300,000 (学) 東邦大学設置校で 看護教育を修了した者は 100,000	1,000,000	実験実習費 200,000 2年次も同額	200,000 2年次も同額
	医学研究科 博士課程		30,000	100,000 (本学出身者50,000)	基礎100,000 * 臨床400,000 (*本学出身者200,000)	0	0
	薬学研究科		30,000	200,000 本研究科修士課程から の進学・出身者は免除 (博士課程)	修士課程臨床コース 550,000 その他 450,000	0	150,000 本学部出身者は免除 (修士課程) 本学部・本研究科修士 課程出身者は免除 (博士課程)
	理学研究科		20,000	100,000 本研究科修士課程出身 者は免除 (博士課程)	500,000	0	100,000 本研究科修士課程出身 者は免除 (博士課程)
大 学	医学部	医 学 科	60,000	1,000,000	2,800,000	4,000,000 2年次以降 200,000	1,500,000 2年次以降も同額
		看護学科	40,000	500,000	1,100,000	300,000 2年次以降も同額	500,000 2年次以降も同額
	薬 学 部		32,000 センター入試15,000	400,000	1,120,000	750,000 2年次以降 700,000	0
	理 学 部		31,000 センター入試11,000	300,000	983,000	300,000 2年次以降 500,000	0
中・高	付 属 東 邦		22,000	170,000	342,000	0	170,000
	駒 場 東 邦		25,000	中・220,000 高・110,000	480,000	0	(中学)14年度生より 24,000
看 専	看 護 科		20,000	70,000	300,000	0	実習費 80,000

④奨学金等

○大学

1) 入学時教育充実費の免除

- ・医学部医学科 初年度分医学教育充実費の全額または一部を免除
対象者：総合成績の優秀な者10名以内
- ・医学部看護学科 初年度分看護学教育充実費全額または一部を免除
対象者：一般入試総合成績の優秀な者10名以内
- ・薬学部 初年度分薬学教育充実費の全額または一部を免除
対象者：総合成績の優秀な者40名程度

2) スカラシップ制度

- ・理学部 入学初年度に100万円の奨学金を給付
対象者：一般入試・センター試験利用入試の成績優秀者、各学科4名

3) 特待生制度

- ・医学部医学科 授業料のうち最高100万円を免除
対象者：成績優秀で心身ともに健康な者、2～6年次の各学年2名程度
- ・医学部看護学科 授業料の半額を免除
対象者：成績優秀で心身ともに健康な者、2～3年次の各学年2名
- ・薬学部 授業料の全額または半額を免除
対象者：成績優秀で心身ともに健康な者、2～6年次の各学年全額2名
半額5名
- ・理学部 授業料の全額を免除
対象者：成績優秀で心身ともに健康な者、各学科、2～4年次の各学年
各1名

4) 東邦大学青藍会（父母会）奨学金

- ・各学部 学費負担者の死亡等による経済的困窮に対し学納金の3分の2(限度額)を貸与
貸与人数：医学科7名、看護学科2名、薬学部8名、理学部5名程度

5) 東邦大学同窓会奨学金

- ・医学部東邦会 学資支弁が困難で、健康、人物、学業が良好な者に月額5万円（年間60万円）
を貸与 貸与人数：5名程度
- ・薬学部鶴風会 学資支弁が困難な者に、学業成績等を考慮して貸与（最終学年に限る）
- ・理学部鶴風会 学資支弁が困難な者に、学業成績等を考慮して学納金（授業料・教育充実費）
の半期分（最高限度額）を貸与。 貸与人数：5名程度 （貸与奨学金）
- ・理学部鶴風会 学資支弁が困難で学業成績が優秀かつ学習意欲のある者に、1名当たり100万円
を上限に給付。 給付人数：若干名 （給付奨学金）

6) 日本学生支援機構

- ・第一種 人物、学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者に貸与
無利子
- ・第二種 人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な者に貸与、有利子

7) その他地方自治体、各種団体の奨学金がある。

○佐倉看護専門学校

- ・東邦大学佐倉看護専門学校奨学金
入学生の希望者全員に貸与 30,000円（月額）
- ・千葉県看護師等修学資金 18,000円（月額）

⑤国家試験結果

医師国家試験

() 内の数値は前年度

	受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国平均 (%)
新卒	100 (109)	87 (102)	87.0 (93.6)	94.4 (92.3)
既卒	10 (7)	6 (5)	60.0 (71.4)	62.2 (48.4)
合計	110 (116)	93 (107)	84.5 (92.2)	90.6 (87.9)

国立平均91.6%・公立平均94.2%・私立平均89.3%
私立29大学中23位(6位)、全国80大学中73位(24位)

薬剤師国家試験

	受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国平均 (%)
新卒	243 (249)	225 (225)	92.6 (90.4)	86.3 (85.6)
既卒	59 (56)	40 (36)	67.8 (64.3)	49.0 (49.1)
合計	302 (305)	265 (261)	87.8 (85.6)	76.1 (75.6)

国立平均72.1%・公立平均76.1%・私立平均76.8%
私立38大学中10位(9位)、全国55大学中10位(9位)

臨床検査技師国家試験

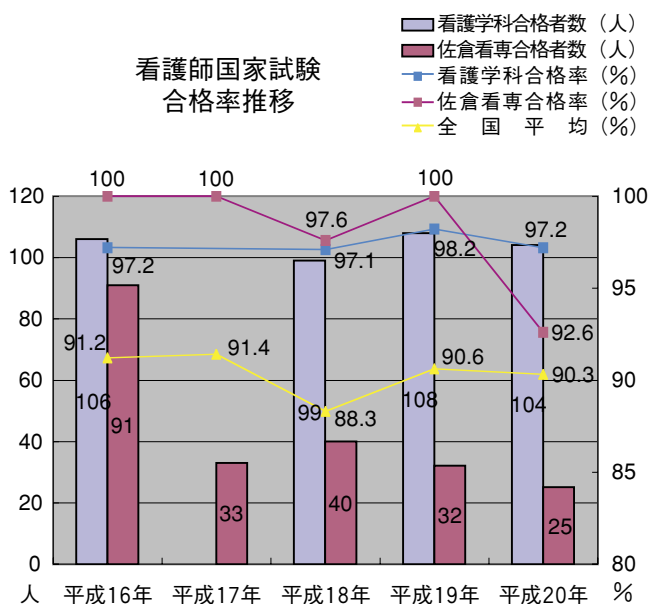
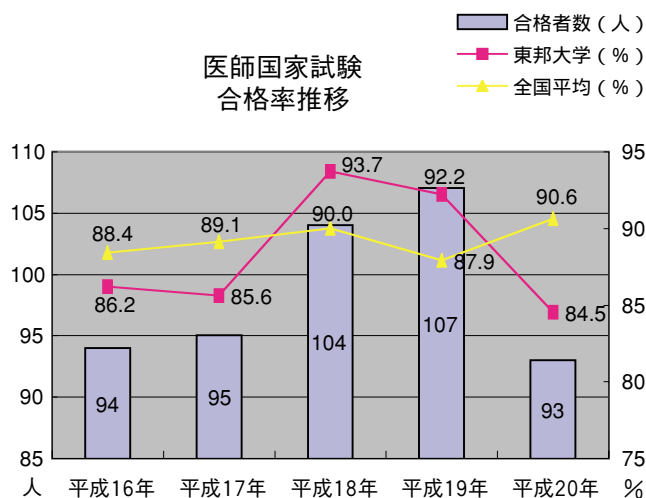
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国平均 (%)
理学部	37 (31)	31 (27)	83.8 (87.1)	73.7 (74.7)

前年度の受験者数・合格者数には秋期卒業生2名を含む。また、全国平均は専門学校を含む。

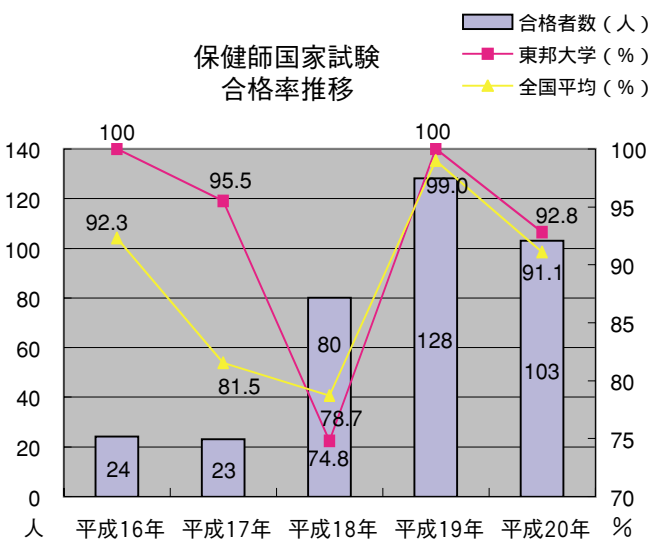
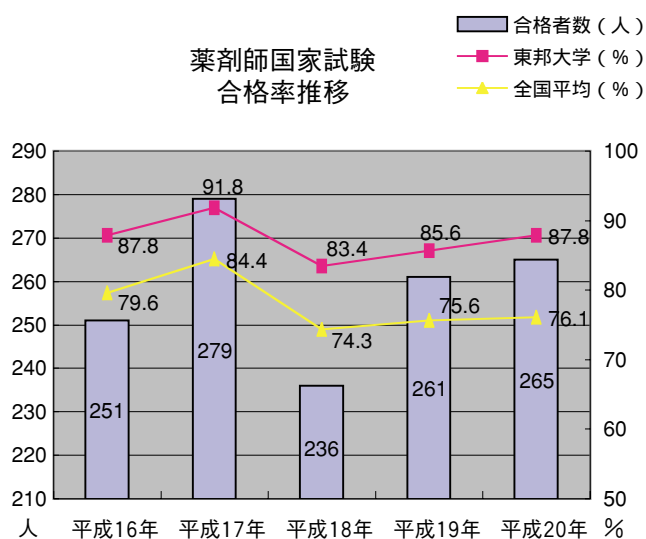
看護師等の国家試験

		受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国平均 (%)
医学部 看護学科	看護師	新卒 104 (107)	104 (106)	100.0 (99.1)	
		既卒 3 (3)	0 (2)	0.0 (66.7)	
		合計 107 (110)	104 (108)	97.2 (98.2)	90.3 (90.6)
	保健師	新卒 109 (111)	102 (111)	93.6 (100)	
		既卒 2 (17)	1 (17)	50.0 (100)	
		合計 111 (128)	103 (128)	92.8 (100)	91.1 (99.0)
	助産師	新卒 12 (10)	12 (10)	100.0 (100)	
		既卒 1 (1)	1 (0)	100.0 (0)	
		合計 13 (11)	13 (10)	100.0 (90.9)	98.1 (94.3)
佐倉看専	看護師	新卒 27 (31)	25 (31)	92.6 (100)	
		既卒 0 (1)	0 (1)	0.0 (100)	
		合計 27 (32)	25 (32)	92.6 (100)	90.3 (90.6)

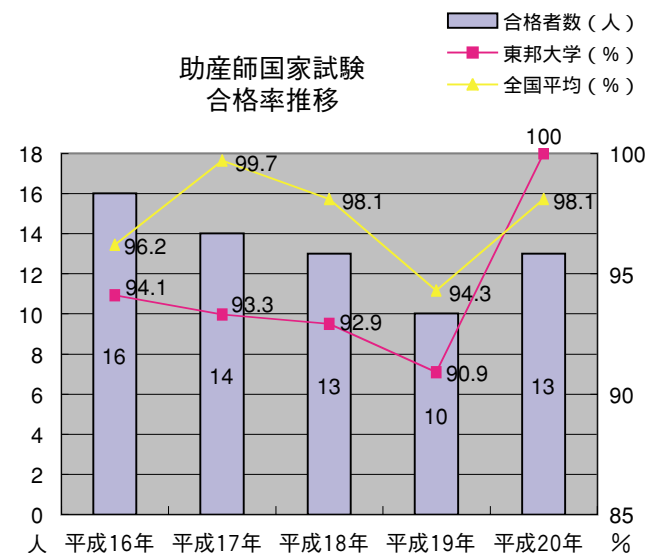
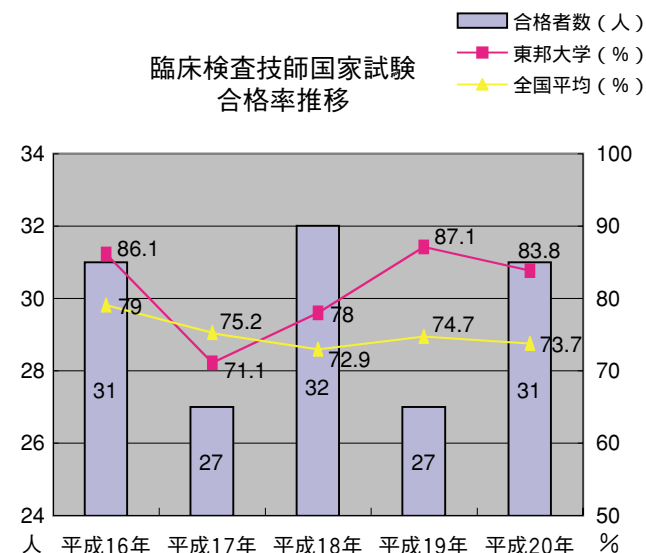
国家試験合格率の推移（過去5年間）



※看護学科に関しては、平成16年は医療短期大学卒業生、平成17年は卒業生なし



※平成16年、17年は医療短期大専攻科



※平成16年、17年は医療短期大専攻科

⑥卒業後の進路状況

○医学部医学科

卒業生100名

研修病院名	人数	研修病院名	人数
<東邦大学医療センター>	<39>	<連携病院>	<10>
大橋病院	19	済生会横浜市南部病院	2
大森病院	16	牧野記念病院	2
佐倉病院	4	牛久愛和病院	1
		大船中央病院	1
		けいゆう病院	1
<他大学付属病院>	<22>	厚生中央病院	1
東京女子医科大学	5	済生会横浜市東部病院	1
順天堂大学浦安病院	4	北総白井病院	1
東京大学	2		
自治医科大学	2	<臨床研修病院>	<16>
北里大学	1	聖路加国際病院	2
久留米大学	1	虎の門病院	2
札幌厚生病院	1	東京医療センター	1
順天堂大学	1	亀田総合病院	1
昭和大学	1	河北総合病院	1
昭和大学藤が丘病院	1	川崎市立病院	1
千葉大学	1	関東労災病院	1
山口大学病院	1	桐生厚生総合病院	1
横浜市立大学病院	1	国保松戸市立病院	1
		済生会中央病院	1
		仙北組合総合病院	1
		千葉西総合病院	1
		平塚市民病院	1
		深谷赤十字病院	1
		<その他>	<13>

○医学部看護学科

卒業生110名

病院名他	人数	病院名他	人数
<東邦大学医療センター>	<52>	<他施設> ※1	<55>
大森病院	32	<進学> ※2	<2>
大橋病院	15	<その他>	<2>
佐倉病院	5		

※1 板橋中央総合病院

大塚病院

大森赤十字病院(助産師)

葛飾赤十字産院(助産師)

神奈川県(保健師)

神奈川県立こども医療センター 3名

神奈川県立汐見台病院(助産師)

癌研究会 有明病院

北里大学病院

杏林大学医学部附属病院 2名

清瀬小児病院

慶應義塾大学病院

神戸大学医学部附属病院

埼玉県(保健師)

狭山病院 2名

順天堂大学医学部附属順天堂医院 2名

順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院

順天堂大学医学部附属練馬病院 2名

せんば東京高輪病院

土浦協同病院

東京医科歯科大学附属病院 4名(内 助産師1名)

東京厚生年金病院

東京歯科大学市川総合病院

東京慈恵会医科大学附属病院

東京大学医学部附属病院 7名(内 助産師1名)

東京臨海病院

獨協医科大学病院

虎の門病院 5名

日本医科大学附属病院 4名

浜松医科大学医学部附属病院

横浜市立大学附属病院

横浜労災病院

国家公務員

※2 聖路加看護大学大学院

東邦大学大学院医学研究科(大橋病院に所属のため、双方に計上)

○薬学部

卒業生257名

	人 数	%
就 職 者	175	68.1
大 学 院 進 学 者	65	25.3
研 修 生	3	1.2
そ の 他	14	5.4

就職状況

求 人 状 況			就 職 状 況			
求 人 数		1,745名	就 職 希 望 者		177名	
			就 職 決 定 者		175名	
求 人 件 数		1,260件	就 職 率		98.9%	
求 人 先 規 模	大 企 業	374件	就 職 先 規 模	大 企 業	101名	57.7%
	中 企 業	520件		中 企 業	60名	34.3%
	小 企 業	366件		小 企 業	14名	8.0%
製 造	化 学 工 業	110件	製 造	化 学 工 業	22名	12.6%
保 健 教 育	病 院	515件	保 健 教 育	病 院	39名	22.3%
	薬 局	490件		薬 局	94名	53.7%
	教 育	2件		教 育	0名	0%
	そ の 他	81件		そ の 他	14名	8.0%
公 務	国 家 ・ 地 方	62件	公 務	国 家 ・ 地 方	6名	3.4%
求 人 先 所 在 地	京 浜 葉 地 区	222件	就 職 先 所 在 地	京 浜 葉 地 区	135名	77.1%
	東 海 地 区	69件		東 海 地 区	1名	0.6%
	阪 神 地 区	45件		阪 神 地 区	11名	6.3%
	そ の 他	924件		そ の 他	28名	16.0%

○理学部

卒業生452名

	人 数	%
就 職 者	295	65.3
大 学 院 進 学 者	123	27.2
研 究 生	2	0.4
留 学 ・ 専 門 学 校 他	14	3.1
そ の 他	18	4.0

就職状況

求 人 状 況			就 職 状 況			
求 人 数		2,669名	就 職 希 望 者		296名	
			就 職 決 定 者		295名	
求 人 件 数		1,483件	就 職 率		99.7%	
求 人 先 規 模	大 企 業	649件	就 職 先 規 模	大 企 業	162名	54.9%
	中 企 業	591件		中 企 業	90名	30.5%
	小 企 業	243件		小 企 業	43名	14.6%
製 造	化 学 工 業	124件	製 造	化 学 工 業	26名	8.8%
	そ の 他	234件		そ の 他	34名	11.6%
医 療 ・ 教 育	医 療 ・ 保 険	76件	医 療 ・ 教 育	医 療 ・ 保 険	18名	6.1%
	教 育	67件		教 育	18名	6.1%
公 務	国 家 ・ 地 方	134件	公 務	国 家 ・ 地 方	8名	2.7%
その他（情報・サービス）		848件	その他（情報・サービス）		191名	64.7%
求 人 先 所 在 地	京 浜 葉 地 区	907件	就 職 先 所 在 地	京 浜 葉 地 区	237名	80.4%
	東 海 地 区	91件		東 海 地 区	8名	2.7%
	阪 神 地 区	84件		阪 神 地 区	16名	5.4%
	そ の 他	401件		そ の 他	34名	11.5%

○東邦大学附属東邦中・高等学校

中学校 特段の支障がない限り、原則として附属東邦高等学校へ進学する。
 高等学校 大部分が大学へ進学する。なお、現役での進学率は70.1%である。

大学等の合格状況

国公立	合格者数	うち現役	私立	合格者数	うち現役
東 京	4	3	東 邦	58	48
京 都	3	1	早 稲 田	92	66
一 橋	2	2	慶 應	54	42
東 京 工 業	10	8	上 智	39	24
東京医科歯科	3	2	I C U	4	1
千 葉	27	24	東 京 理 科	116	86
筑 波	5	3	明 治	75	59
横 浜 国 立	3	3	中 央	43	33
東 京 農 工	3	3	日 本	32	19
東 北	4	3	立 教	66	54
そ の 他	27	13	そ の 他	454	295
合 計	91	65	合 計	1033	727
うち医歯薬	16	—	うち医歯薬	165	—

○駒場東邦中・高等学校

中学校 特別の支障のない限り、本校高等学校への進学を許可する。
 高等学校 いずれの大学の、どの学部に進学することも自由である。
 東邦大学(医・薬・理)へ進学を希望する者で、成績のよい者は、特別選考の制度がある。

大学等の合格状況

国公立	合格者数	うち現役	私立	合格者数	うち現役
東 京	38	28	東 邦	4	4
京 都	3	0	早 稲 田	134	71
一 橋	11	5	慶 應	89	55
東 京 工 業	7	5	上 智	14	4
東京医科歯科	4	3	I C U	2	0
千 葉	7	3	東 京 理 科	37	20
筑 波	2	2	明 治	30	6
横 浜 国 立	4	1	中 央	31	4
東 京 農 工	1	1	日 本	3	1
東 北	8	5	立 教	7	2
そ の 他	28	14	そ の 他	75	34
合 計	113	67	合 計	426	201
うち医歯薬	25	—	うち医歯薬	51	—

○東邦大学佐倉看護専門学校

区分		年度	
		平成19年3月卒業	平成20年3月卒業
卒業生数		31	27
就職者数		31	25
就職先	付属病院	31	21
	他施設	0	3
進学者		0	1
その他		0	2



(3) 外部資金の獲得状況

① 科学研究費の年次推移

○ 科研費申請件数

(単位：件)

年度別	医学科		看護学科		薬学部		理学部		合計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
平成17年度	267	21	9	1	35	1	56	16	367	39
平成18年度	209	17	14	3	33	3	57	15	313	38
平成19年度	167	19	9	8	24	8	51	17	251	52

○ 科研費採択件数

(単位：件)

年度別	医学科		看護学科		薬学部		理学部		合計	
	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規
平成17年度	31	10	3	2	4	3	26	10	64	25
平成18年度	33	16	9	6	11	8	27	12	80	42
平成19年度	32	13	10	2	10	2	27	10	79	27

○ 科研費採択金額

(単位：千円)

年度別	医学科		看護学科		薬学部		理学部		合計	
	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規
平成17年度	42,400	15,300	4,600	2,900	11,100	10,200	56,500	31,300	114,600	59,700
平成18年度	58,900	39,300	13,600	10,500	17,400	12,100	41,800	21,900	131,700	83,800
平成19年度	52,800	23,800	12,800	2,700	15,100	4,500	46,500	16,700	127,200	47,700

○ 科研費採択率

(単位：%)

年度別	医学科		看護学科		薬学部		理学部		合計	
	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規	新規+継続	新規
平成17年度	10.8	3.7	30.0	22.2	11.1	8.6	36.1	17.9	15.8	6.8
平成18年度	14.6	7.7	52.9	42.9	30.6	24.2	37.5	21.1	22.8	13.4
平成19年度	17.2	7.8	58.8	22.2	31.3	8.3	39.7	19.6	26.1	10.8

(単位：%)

年度別	全国平均	
	新規+継続	新規
平成17年度	38.9	21.6
平成18年度	39.5	21.6
平成19年度	39.5	21.6

②受託事業収入

○大学

(単位：円)

	医学科	看護学科	薬学部	理学部
平成17年度	166,191,774 (81,419,687)	0	9,713,590	20,760,500
平成18年度	214,359,887 (111,335,028)	0	9,190,965	14,939,312
平成19年度	229,442,887 (126,340,978)	500,000	11,828,885	24,270,700
合 計	609,994,548 (319,095,693)	500,000	30,733,440	59,970,512

○病院

(単位：円)

	大森病院	大橋病院	佐倉病院	受託事業収入合計
平成17年度	15,379,828 (15,379,828)	48,062,737 (48,062,737)	82,902,061 (82,902,061)	343,010,490 (227,764,313)
平成18年度	56,675,143 (56,675,143)	12,418,679 (12,418,679)	90,485,161 (90,485,161)	398,069,147 (270,914,011)
平成19年度	57,296,890 (57,296,890)	47,931,665 (47,931,665)	89,760,454 (89,760,454)	461,031,481 (321,329,987)
合 計	129,351,861 (129,351,861)	108,413,081 (108,413,081)	263,147,676 (263,147,676)	1,202,111,118 (820,008,311)

※()の数字は、治験収入の金額。

③研究寄付金収入

(単位：円)

	医学科	看護学科	薬学部	理学部	合 計
平成17年度	487,047,451	4,300,000	28,462,129	9,897,509	529,707,089
平成18年度	529,489,360	9,000,000	22,612,821	17,301,000	578,403,181
平成19年度	491,077,188	3,500,000	11,879,538	28,797,500	535,254,226
合 計	1,507,613,999	16,800,000	62,954,488	55,996,009	1,643,364,496

④奨学寄付金

(単位：円)

	額田奨学基金	駒場交換留学生基金	合 計
平成17年度	0	442,800	442,800
平成18年度	0	441,800	441,800
平成19年度	50,000,000	5,389,940	55,389,940
合 計	50,000,000	6,274,540	56,274,540

9 付属病院

(1) 概要

① 大森病院

東京都大田区大森西6-11-1
TEL 03-3762-4151

<病床数>

1,021 床

<基本理念>

本院は患者さまに優しく安全で質の高い地域医療を提供するために、良き医療人の育成をはかり、高度先進医療の研究・開発を推進します。

<基本方針>

- ・ 医療を求めるすべての人々に真心をもって臨む
- ・ 安全で質の高い医療の実践
- ・ 救急医療への対応
- ・ 地域の医療機関、保健機関との協力
- ・ 高い技能を持つ心豊かな人材の育成
- ・ 医療人としての倫理に基づいた先端医療



② 大橋病院

東京都目黒区大橋2-17-6
TEL 03-3468-1251

<病床数>

468 床

<基本理念>

優しい心、親切な心のこもった医療の実践

<基本方針>

- ・ 安心かつ信頼される医療を目指します。
- ・ 地域医療機関と連携し、24時間体制で患者様のニーズに対応します。
- ・ わかりやすい診療科の編成で、わかりやすい医療を提供します。



③ 佐倉病院

千葉県佐倉市下志津564-1
TEL 043-462-8811

<病床数>

451 床

<基本理念>

- ・ 質の高い医療を安全に提供できる病院
- ・ 地域に貢献できる病院
- ・ 人間愛を共有できる病院
- ・ 楽しく明るくチャレンジする病院
- ・ 良き医療人を育成する病院



(2) 診療科別入院・外来患者数

①大森病院

入院患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (365日)		平成19年度 (366日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
総 診	内 科	11,208	30.7	9,180	25.1
総 診	外 科	6,473	17.7	6,256	17.1
消 化 器	内 科	37,476	102.7	36,810	100.6
消 化 器	外 科	23,092	63.3	23,113	63.2
呼 吸 器	内 科	26,126	71.6	23,368	63.8
呼 吸 器	外 科	4,629	12.7	4,980	13.6
循 環 器	内 科	14,844	40.7	15,076	41.2
循 環 器	心 外	5,451	14.9	4,615	12.6
糖 代 内	セ ン タ ー	6,763	18.5	5,458	14.9
腎	セ ン タ ー	13,643	37.4	13,737	37.5
神 経	内 科	9,497	26.0	11,442	31.3
脳 神 経	外 科	12,243	33.5	11,237	30.7
リ ウ マ チ	膠 原 病	3,252	8.9	4,572	12.5
精 神 神 経	科	10,981	30.1	10,607	29.0
小 児	科	11,395	31.2	11,348	31.0
小 児	外 科	2,085	5.7	1,982	5.4
周 産 期	セ ン タ ー	10,023	27.5	11,661	31.9
血 液 ・ 腫 瘍	科	8,446	23.1	8,870	24.2
乳 腺 ・ 内 分 泌	外 科	2,218	6.1	2,210	6.0
心 療	内 科	2,482	6.8	2,211	6.0
形 成	外 科	2,167	5.9	2,490	6.8
整 形	外 科	28,601	78.4	30,357	82.9
産 婦 人	科	25,914	71.0	26,343	72.0
皮 膚	科	3,877	10.6	4,297	11.7
泌 尿 器	科	9,215	25.2	9,712	26.5
眼	科	9,375	25.7	8,341	22.8
耳 鼻 咽 喉	科	6,803	18.6	6,870	18.8
放 射 線	科	0	0.0	0	0.0
麻 酔	科	0	0.0	0	0.0
口 腔	外 科	967	2.6	1,095	3.0
救 急	セ ン タ ー	3,699	10.1	3,488	9.5
合 計		312,945	857.4	311,726	851.7

外来患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (281日)		平成19年度 (281日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
総 診	内 科	45,343	161.4	41,837	148.9
総 診	外 科	8,271	29.4	8,229	29.3
消 化 器	内 科	29,661	105.6	30,540	108.7
消 化 器	外 科	19,902	70.8	20,109	71.6
呼 吸 器	内 科	22,201	79.0	22,451	79.9
呼 吸 器	外 科	4,417	15.7	4,230	15.1
循 環 器	内 科	40,640	144.6	44,183	157.2
循 環 器	心 外	5,730	20.4	5,555	19.8
糖 代 内	セ ン タ ー	32,953	117.3	31,970	113.8
腎	セ ン タ ー	14,196	50.5	15,244	54.2
神 経	内 科	9,804	34.9	11,536	41.1
脳 神 経	外 科	15,298	54.4	14,078	50.1
リウマチ	膠原病	6,329	22.5	8,829	31.4
精 神 神 経	科	35,133	125.0	35,798	127.4
小 児	科	51,505	183.3	47,254	168.2
小 児	外 科	1,667	5.9	1,881	6.7
血 液 ・ 腫 瘍	科	8,522	30.3	8,601	30.6
乳 腺 ・ 内 分 泌	外 科	11,199	39.9	12,245	43.6
心 療	内 科	23,141	82.4	22,248	79.2
形 成	外 科	5,924	21.1	5,690	20.2
整 形	外 科	50,439	179.5	50,770	180.7
リハビリ	テー シ ョ ン 科				
産 婦 人	科	49,505	176.2	53,494	190.4
皮 膚	科	37,511	133.5	36,253	129.0
泌 尿 器	科	27,487	97.8	28,397	101.1
眼	科	42,653	151.8	41,152	146.4
耳 鼻 咽 喉	科	25,471	90.6	24,295	86.5
放 射 線	科	5,647	20.1	5,403	19.2
麻 酔	科	1,987	7.1	2,112	7.5
東 洋 医 学	科	4,816	17.1	5,769	20.5
口 腔	外 科	10,650	37.9	9,981	35.5
感 染 症	科	395	1.4	389	1.4
内 視 鏡		265	0.9	299	1.1
循 環 器	小 児 科	(3,319)		(3,192)	
婦 人 科	リ プ オ	(10,000)		(10,363)	
泌 尿 器	リ プ オ	(2,780)		(3,052)	
合 計		648,662	2,308.4	650,822	2,316.1

() は再掲

②大橋病院

入院患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (365日)		平成19年度 (366日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
総 合 内 科		7	0.0	0	0.0
消 化 器 内 科		23,220	63.6	21,410	58.5
呼 吸 器 内 科		7,329	20.1	9,537	26.1
循 環 器 内 科		21,974	60.2	20,393	55.7
心 臓 外 科		4,130	11.3	5,919	16.2
糖 尿 病 内 科		3,212	8.8	3,547	9.7
腎 臓 内 科		3,069	8.4	4,070	11.1
神 経 内 科		7,946	21.8	8,653	23.6
脳 神 経 外 科		7,477	20.5	8,064	22.0
リウマチ膠原病痛風		4,176	11.4	4,339	11.9
精 神 神 経 科		—	—	—	—
小 児 科		5,576	15.3	5,325	14.5
第 三 外 科		21,716	59.5	23,189	63.4
形 成 外 科		1,910	5.2	1,882	5.1
美 容 外 科		0	0.0	0	0.0
整 形 外 科		15,162	41.5	13,422	36.7
産 婦 人 科		5,996	16.4	5,306	14.5
皮 膚 科		1,746	4.8	2,973	8.1
泌 尿 器 科		2,722	7.5	3,172	8.7
眼 科		10,463	28.7	8,618	23.5
耳 鼻 咽 喉 科		2,529	6.9	2,908	7.9
放 射 線 科		0	0.0	0	0.0
麻 酔 科		0	0.0	0	0.0
I C U		(1,227)	(3.4)	(1,537)	(4.2)
合 計		150,360	411.9	152,727	417.3

()は再掲

外来患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (281日)		平成19年度 (281日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
総合内科		9,547	34.0	9,002	32.0
消化器内科		23,621	84.1	22,678	80.7
呼吸器内科		8,398	29.9	8,464	30.1
循環器内科		35,249	125.4	36,401	129.5
心臓外科		3,769	13.4	3,880	13.8
糖尿病内科		6,548	23.3	8,421	30.0
腎臓内科		6,625	23.6	7,427	26.4
神経内科		14,045	50.0	14,066	50.1
脳神経外科		14,634	52.1	14,469	51.5
リウマチ膠原病痛風		11,473	40.8	10,515	37.4
精神神経科		15,137	53.9	14,156	50.4
小児科		24,681	87.8	23,159	82.4
第三外科		21,818	77.6	22,994	81.8
形成外科		3,856	13.7	3,590	12.8
美容外科		489	1.7	322	1.1
整形外科		37,272	132.6	38,425	136.7
リハビリテーション科		8,578	30.5	8,721	31.0
産婦人科		16,471	58.6	12,801	45.6
皮膚科		24,376	86.7	26,842	95.5
泌尿器科		16,941	60.3	16,341	58.2
眼科		35,928	127.9	34,368	122.3
耳鼻咽喉科		20,567	73.2	21,474	76.4
放射線科		2,013	7.2	2,122	7.6
麻酔科		1,715	6.1	1,450	5.2
総合健康センター		228	0.8	291	1.0
女性専用 (心診療)		225	0.8	281	1.0
女性専用 (外科)		369	1.3	355	1.3
女性専用 (婦人)		279	1.0	299	1.1
女性専用 (皮膚)		162	0.6	115	0.4
女性専用 (泌尿)		183	0.7	143	0.5
漢方外来		658	2.3	882	3.1
合 計		365,855	1,302.0	364,454	1,297.0
		364,120	1,295.8	362,724	1,290.8

平成15年度より入院他科診療依頼患者数及び整形外科とリハビリテーション科重複患者数を除外。

平成18年度【365,855 - 1,735 (整形外科とリハビリテーション科の重複患者数) = 364,120】

平成19年度【364,454 - 1,730 (整形外科とリハビリテーション科の重複患者数) = 362,724】

③佐倉病院

入院患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (365日)		平成19年度 (366日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
内 科 系		13,214	36.2	14,290	39.0
内 科		13,214	—	334	0.9
呼 吸 器 内 科		(9,857)	—	13,414	36.7
神 経 内 科		(18)	—	542	1.5
外 科		3,090	8.5	3,672	10.0
消 化 器 内 科		10,938	30.0	14,080	38.5
消 化 器 外 科		8,255	22.6	9,173	25.1
循 環 器 セ ン タ ー		10,101	27.7	10,325	28.2
糖 内 代 セ ン タ ー		6,646	18.2	8,070	22.0
脳 神 経 外 科		5,908	16.2	6,260	17.1
精 神 神 経 科		26	0.1	278	0.8
小 児 科		5,587	15.3	6,129	16.7
形 成 外 科		1,321	3.6	2,113	5.8
整 形 外 科		5,562	15.2	6,229	17.0
産 婦 人 科		10,589	29.0	10,609	29.0
皮 膚 科		483	1.3	1,523	4.2
泌 尿 器 科		1,986	5.4	1,922	5.3
眼 科		8,968	24.6	8,053	22.0
耳 鼻 咽 喉 科		4,633	12.7	4,536	12.4
麻 酔 科		0	0.0	0	0.0
内 視 鏡		4,258	11.7	106	0.3
リプロダクションセンター		554	1.5	271	0.7
救 急 セ ン タ ー		(1,720)	(4.7)	(1,527)	(4.2)
未 熟 児		(2,188)	(6.0)	(2,339)	(6.4)
合 計		102,119	279.8	107,639	294.1

- * 内科、呼吸器内科、神経内科は前年度比較のため、内科系として計上した。
 - * 内視鏡治療センターは4月半ばで中止。
 - * リプロダクションセンターは婦人科で271人。
 - * 救急センターはICU（特定集中治療室）に入室された延患者数とし再掲とした。
 - * 未熟児はNICUに入室された延患者数とし再掲とした。
- () は再掲

外来患者数

(単位：人)

科 別	区 分	平成18年度 (281日)		平成19年度 (280日)	
		延患者数	1日平均	延患者数	1日平均
内 科 系		35,849	127.6	34,958	124.9
内 科		35,849	127.6	14,512	51.8
呼 吸 器 内 科		(13,741)		16,385	58.5
神 経 内 科		(235)		4,061	14.5
総合診療センター		(1,144)		—	—
外 科		9,511	33.8	9,456	33.8
消 化 器 内 科		26,995	96.1	30,117	107.6
消 化 器 外 科		8,885	31.6	8,748	31.2
循 環 器 セ ン タ ー		31,346	111.6	31,483	112.4
糖 内 代 セ ン タ ー		38,991	138.8	39,146	139.8
脳 神 経 外 科		14,224	50.6	12,746	45.5
精 神 神 経 科		26,582	94.6	25,965	92.7
小 児 科		16,162	57.5	14,393	51.4
形 成 外 科		4,924	17.5	5,224	18.7
整 形 外 科		25,052	89.2	22,489	80.3
産 婦 人 科		20,473	72.9	20,374	72.8
皮 膚 科		16,828	59.9	17,247	61.6
泌 尿 器 科		15,865	56.5	15,975	57.1
眼 科		38,861	138.3	38,520	137.6
耳 鼻 咽 喉 科		21,090	75.1	20,958	74.9
放 射 線 科		550	2.0	404	1.4
麻 酔 科		2,139	7.6	2,582	9.2
内 視 鏡		4,392	15.6	363	1.3
リプロダクションセンター		4,464	15.9	5,239	18.7
合 計		363,183	1292.5	356,387	1272.8

* 内科、呼吸器内科、神経内科、総合診療センターは前年度比較のために、内科系として計上した。

* 内視鏡治療センターは、4月半ばで中止。

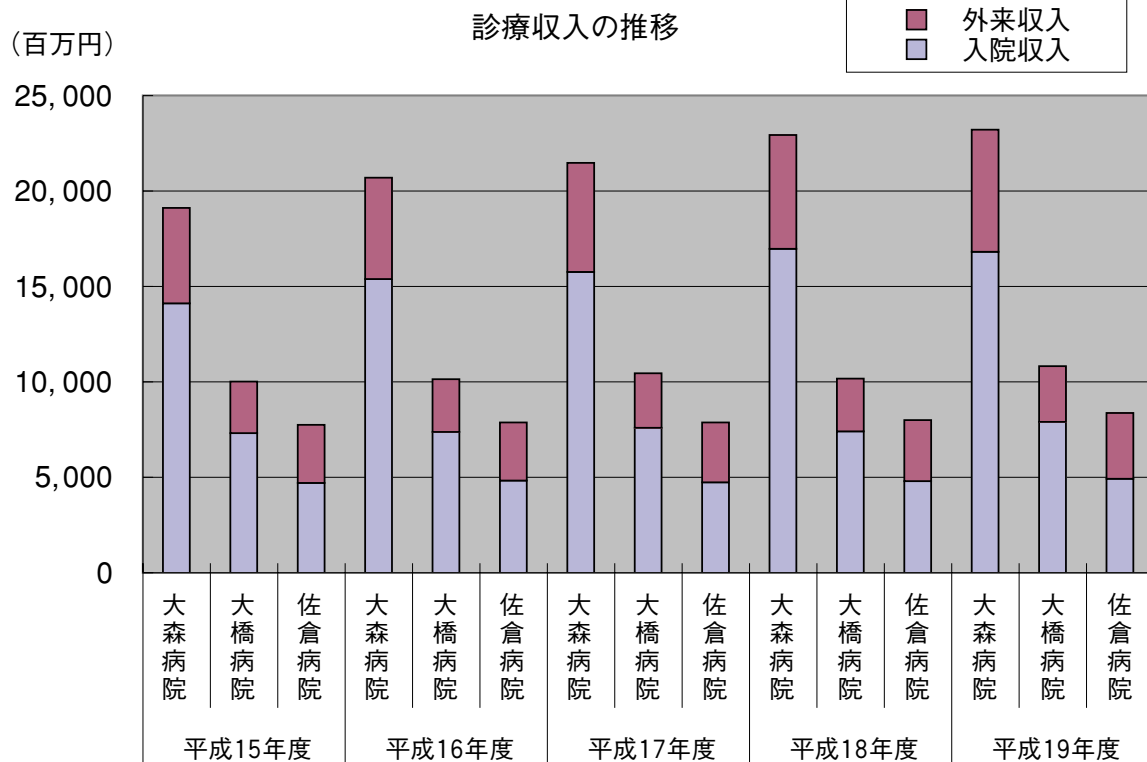
* リプロダクションセンターは、婦人科4,892人、泌尿器科347人。

()は再掲

(3) 診療収入

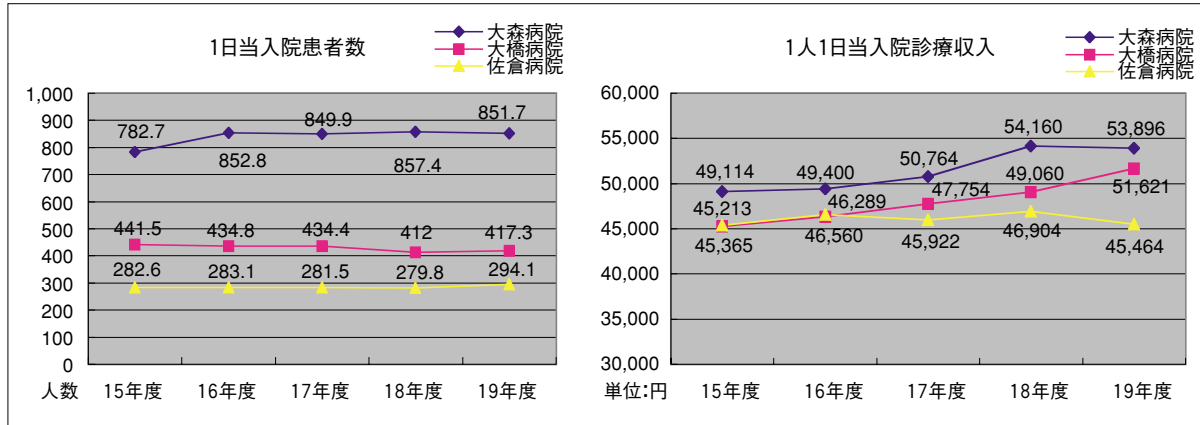
(単位：百万円)

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
大森病院	診療収入	19,109	20,673	21,454	22,930	23,193
	入院収入	14,087	15,376	15,748	16,949	16,801
	外来収入	5,022	5,297	5,706	5,981	6,392
大橋病院	診療収入	9,989	10,122	10,425	10,153	10,803
	入院収入	7,306	7,346	7,571	7,377	7,884
	外来収入	2,683	2,776	2,854	2,776	2,919
佐倉病院	診療収入	7,719	7,848	7,848	7,974	8,344
	入院収入	4,692	4,811	4,719	4,790	4,894
	外来収入	3,027	3,037	3,129	3,184	3,450

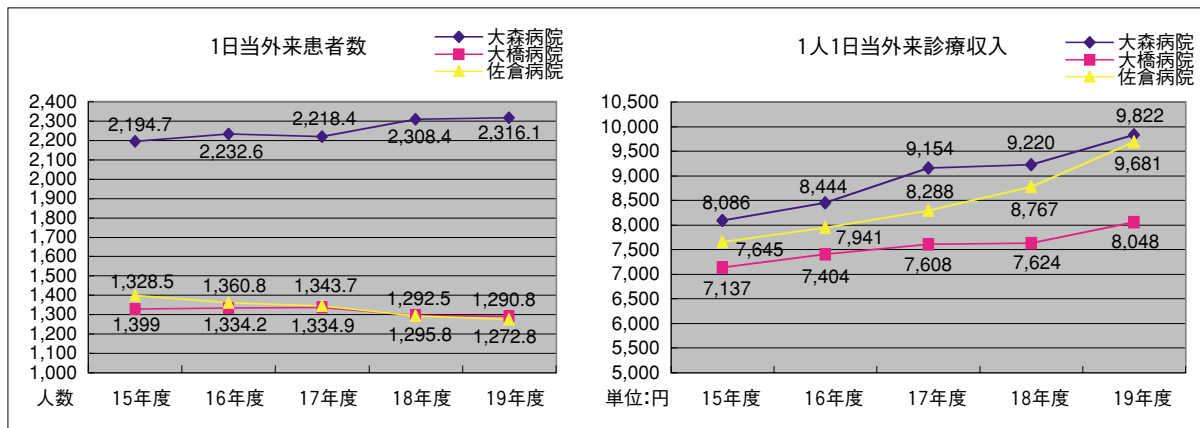


(4) 過去五年間の推移

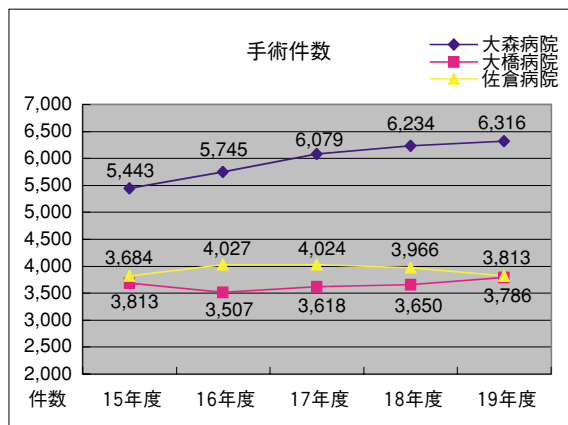
①入院



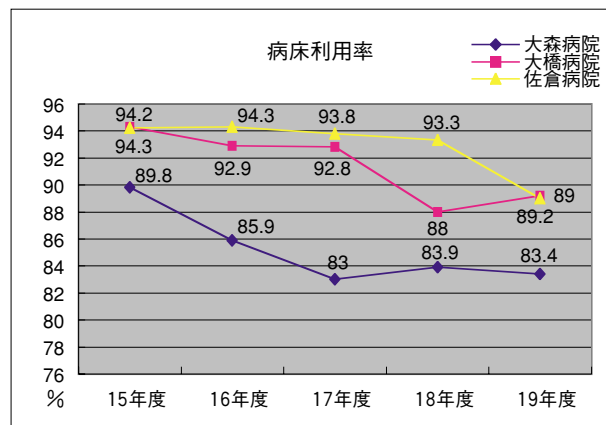
②外来



③手術件数



④病床利用率



Ⅱ 事業の概要

事業の方針

本法人学祖の理念である「真理の探究と知の実践を通じ、実学をもって社会に永続的に貢献する」を教職員一人ひとりが認識し、各学部校・病院は、本法人の特色を生かした新しい理念・目標を再構築しなければならない。同時にたえず厳密な点検、評価を行い、教職員、各学部校・病院が理念・目標の達成に邁進できる法人組織を構築する必要がある。

平成17年度からスタートした「ブランディング・プロジェクト」では、「東邦の良さ、個性」を明確にし、戦略的な広報活動の展開を目指している。同時に「東邦の良さ、個性」を教職員一人ひとりが共有し外部に発信することによって、21世紀に相応しい「東邦ブランド」を確立し「選ばれる学校」「選ばれる病院」を目指すものである。

平成19年度はこれらの考え方にに基づき事業計画を作成し、計画に沿って以下の事業を行った。

1 教育

(1) 入学志願者および優秀な学生生徒の確保

大学における出願者数は看護学科を除き昨年度を下回り、過去5年間の推移を見ても出願者の減少傾向が続いている。(参考：21 ページ)

優秀な学生の確保には、東邦の個性を意識した魅力ある教育を常に実践していかなければならず、来年度以降、さらに全学挙げての努力が必要とされる。

(2) 国家試験合格率の高位安定化

医学部、薬学部、理学部、看護専門学校における国家試験結果は、社会が本法人の教育を評価する重要な要素の一つである。国家試験対策は今後ともきめの細かい指導を継続して実施し、常に高位安定を維持しなければならない。

平成20年の医師国家試験の合格率は84.5%と昨年度を大幅に下回り、全国平均にも達しない結果となった。

薬剤師国家試験は、87.8%で前年度比2.2ptと毎年度好転している。

看護師・保健師・助産師国家試験は、医学部看護学科、佐倉看護専門学校とも100%ないしは、それに近い結果をそれぞれ残すことができた。

また、臨床検査技師国家試験は、83.8%と昨年度より若干下回ったものの、全国平均を上回る合格率であった。(参考：24 ページ)

(3) 教学環境の整備

①医学部医学科3号館新築工事

医学部3号館が平成20年3月31日に竣工し、主に医学部1年生、2年生を使用対象とした最新の教育視聴覚設備を備えた2つの講義室（第一講義室、第二講義室）が完成した。今後医学部基礎教育の中核としてその役割を担っていくものと期待される。

なお、医学部3号館には他に会議室や書店も併設されている。

②医学部医学科解剖実習室改修工事

学生の解剖実習時に発生するホルマリン等の薬害対策として、医学部解剖実習室の全面的な改修工事を行った。最新の換気システムを備えた教育環境のもとに実習が行われることとなる。

③薬学部C館竣工

薬学部新6年制教育の医療薬学教育拠点として、最新機器や大規模なメディア教育を可能とした各教室群を配置したC館が8月に竣工し、9月よりC館内での講義が開始された。

また、授業だけでなく各種講演会等にも使用できる大教室、大規模なメディア教育を可能にした中教室、これからの薬学教育の主流となるSGDへの活用を念頭においた小教室、医療薬学教育の中核となる医療薬学教育センター、学部外での実務実習や生涯教育の中核となる臨床薬学研修センター、薬剤学教室、薬物動態学教室等が配置されている。

④その他

医学部で健康推進センター改修、2号館M2・M3トイレ改修工事を行った。また薬学部ではA館1～4階トイレ改修、B館1階・E館4階講義室改修工事等を、理学部ではⅢ号館1～3階トイレ改修工事を行った。

(4) 6年制移行に伴う薬学部教育

6年制の教育システムを構築し、加えて4年制の学生にも従来にも増して内容のある教育を提供していくことが学生に対する薬学部教育の最大の責務である。本学では平成18年度より薬学部6年制を開始し、平成19年度は6年制高年次科目の具体化、共用試験に向けた体制整備などを実施した。

薬学部6年の3年次秋学期から4年次春学期にかけて開講される疾患と薬学治療について、教育委員会主導の下で各担当責任者を選出し、講義内容の具体化に取り組んでいる。今後さらに4年次秋学期以降に開講される薬学総合演習および臨床薬学実習についても順次講義内容の具体化に取り組んでいく。

また、共用試験に向けた体制整備として、OSCEについては7月と9月の2回、CBTについては11月に2回、現4年生を対象にトライアルを実施した。

(5) 大学院医学研究科規程の一部改正並びに長期履修学生内規制定

平成20年4月1日より看護学専攻において職業を持つ院生の単位取得期間に余裕を持たせ、かつ経済的負担を軽減するため、大学院医学研究科規程の一部改正並びに長期履修学生内規の制定を行った。これにより標準修業年限（2年）を越えて一定の期間（3年）にわたり、計画的に教育課程を履修することが可能となった。

2 研究

本学は、文部科学省科学研究費の申請件数、採択率の低さなど研究分野の低調さを大学基準協会の相互評価においても強く指摘されており、医学部、薬学部、理学部を擁する自然科学系大学にふさわしい研究の活性化を是非とも推進しなければならない。（参考：32 ページ）

教員一人ひとりの意識改革もさることながら、研究環境、体制などの工夫を組織として考えていく必要がある。

(1) がんプロフェッショナルプロジェクト

本学が東京大学、横浜市立大学、日本大学と共同申請を行った「横断的ながん医療の人材育成と均てん化推進」プログラムが、文部科学省の平成19年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に選定された。これは質の高いがん専門医等を養成するための優れたプログラムに対し国が財政支援を行うことにより大学の教育の活性化を促進し、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図ることを目的としている。

(2) オープン・リサーチ・センター

薬学部老化・老年研究センターでは、がん、糖尿病、高脂血症、アルツハイマー病、老人性痴呆症などの疾患についてその分子構造を明らかにし、予防や治療の開発を目標とした研究を行っている。

このセンター内での研究プログラム「細胞機能制御システムの破綻による老化関連疾患発症の分子機構と予防・治療に関する研究」が、文部科学省の平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業（予算：5年間で267,800千円）に選定された。

第3回公開セミナーを平成19年11月に、第4回を平成20年2月にそれぞれ開催し講演会・研究発表が行われた。

(3) ハイテク・リサーチ・センター

理学研究科の「複合物性研究センター」で行っている研究が、文部科学省の平成17年度私立大学学術研究高度化推進事業ハイテク・リサーチ・センター整備事業（予算：5年間で547,553千円）に選定され、3年目を迎えた。

物質化学研究の分野における化学専攻と物理学専攻の協力関係をさらに深め、生体系の研究分野やフォトポリマー等現実の応用分野まで広げることによって、新規な多機能有機物質の設計・合成ならびにその物性評価を行い、近い将来における電子機器その他デバイスのための素材物質や特異な光応答材料の開発を目指している。

平成19年7月には第2回シンポジウム（テーマ：ゼロギャップ電気伝導体）を、平成19年10月には第3回シンポジウム（テーマ：新規多機能有機素材の創成と評価）をそれぞれ開催し、その成果が発表された。

3 医療

(1) 佐倉病院新棟の竣工

佐倉病院増床計画は、平成17年9月の理事会で承認された「佐倉病院増床計画の推進について」に沿って実施された。

平成19年7月21日に新棟増築部を竣工、病棟及び外来の一部を移転して同23日より運用が開始された。病床数は増築当初は44床増の344床、平成20年5月より396床とし、平成21年度には451床（フルオープン）を運用する計画となっている。

既存棟改修工事は、新棟増築部分の運用開始に併せた繰回工事を経て、平成20年3月末日に完工した。増築後の建物概要は建物面積12,690.76㎡（増築部2,199.57㎡）、延べ面積46,586.54㎡（増築部12,759.64㎡）、地上7階建てとなった。

その間、循環器、糖尿病・内分泌・代謝、消化器、リプロダクションセンターの充実を図るとともに、救急センターの機能強化を推進した。また、医療連携・患者支援センターを2階正面玄関横に配置し地域医療機関との連携や広報活動の強化に努めた。

(2) 大森病院の再整備

平成17年11月の理事会において報告した「大森病院再整備実施報告」に沿って、以下の整備を行った。

① 7号館解体工事

病院7号館において稼動していた精神神経科デイケア部門、病院病理部、臨床検査部（微生物検査室）、精神神経科医局等の他施設への移転が6月末に完了した。7月より始まった7号館建物解体は12月末無事完了した。

② 3号館外壁タイル改修工事

平成18年度に、病院3号館の3階から6階バルコニー外壁タイルの一部に浮きが生じたため、診療を継続しながら全面改修工事を5月より実施したが、工事に伴う騒音が著しくやむなく工事を一時中断した。その後、外壁仕上げ材を含む工事方法の見直しを行い、12月に再着工、平成20年6月末に完了した。

(3) 各診療科におけるホームページサイトの整備と充実

「患者の7割の方が受診前にホームページを見る」という調査結果があるように、ホームページは患者さんと病院の重要な接点の一つである。

医療センター3病院のホームページに関しては基本的な部分のリニューアルはすでに完了しているが、今後は患者さんにとって、より見易くわかりやすい情報を発信するために、診療科独自のサイトを充実させていく計画である。

平成19年度は大森病院の心療内科、小児科、メンタルヘルスセンターイルボスコのページが公開された。次年度も引き続き全診療科サイトの公開に努めていく。

4 管理運営

平成19年度予算は431百万円の黒字を計上していた。平成19年度予算では、投資額が9,589百万円と膨らむものの、医療収入は平成18年度（決算予想）比で、3,812百万円、8.9%増が大きく影響している。投資額は、平成16年度の大森病院再整備など10,875百万円をピークに、平成19年度は佐倉病院増床、薬学部新棟など9,589百万円で、今後は少なくとも平成21年度までは抑制に努める方針である。

今後の財政基盤確立の要点は、学生生徒等納付金、補助金収入の伸びは期待できないことから、①大森病院をはじめ、付属病院の診療体制を見直し、安定した財政基盤を確立すること ②医学部機構改革を着実に推進し完成させることと考えている。

(1) 医学部機構改革の推進

医学部機構改革は、平成18年7月から機構検討委員会委員の組織形態を改組し、制度の基本理念とビジョンに沿って講座・研究室の統合再編、人員の適性配置、3病院診療科統合および3病院将来構想などについて検討し、平成20年度の完成を目標に改革事業を推進している。

平成19年度は、従前からの課題である講座・研究室・分野の統合と統合後に所属する教員がどのように教育と診療に係わるかを骨子として審議を重ねてきた。また、付属病院教員（病院）規程の改正についても審議を行い、教授（病院）の任用手続に関し、新たに公募制や診療科審議会の設置などを謳った規程改正案を平成20年度から施行することとなった。

今後は引き続き、大森病院・大橋病院・佐倉病院に組織されている同一領域の講座・研究室・分野を機能的に統合することで人材育成強化につながる組織として再生していく。また、大森病院・大橋病院・佐倉病院における卒前教育と診療の係わりや適正な教員定員についても、更に審議検討を重ねていく予定である。

(2) 大学教員評価制度の推進

医学部における教員評価制度は、教育および診療業績評価基準による教育、研究、医療における教員の全体評価を目指している。

現在は研究業績評価基準に基づく評価結果を、「教員任用申請時における申請者の任用資格の判定」や「大学院医学研究科委員会委員としての資格判定の一部」として用いている。また、学生による教員の授業評価を平成17年度から部分的な評価基準の見直しを図りながら、継続して実施しているほか、現在医学科で組織される業績評価委員会では、新たに設定した診療業績評価基準に基づき、平成19年度診療実績調査を試行している。

今後も、総合的な教員評価基準の構築、導入に向け、業績評価委員会による改善を逐次加えながら、更に精度の高い教員評価制度の確立を図っていく。

薬学部では、教員の教育活動にフィードバックし、教育内容の向上を目的に、授業評価（質的評価）と教育活動（量的評価）に関して教育業績評価を行っている。平成18年度にトライアルを実施し、平成19年度には、平成16年度～18年度分の教育業績評価を実施した。

理学部では、促進研究などの競争的研究採択の際の評価などに使用することとし、教育、研究、学部運営に関して自己評価を実施している。平成19年度は、平成17年度～19年度の3カ年の自己評価を実施した。

(3) 薬学部の周年事業

平成19年10月14日、薬学部80周年記念式典を、卒業生、元教職員、学内外関係者約300名が出席し、竣工まもない薬学部C館で盛大に行われた。

この後、場所をグランドプリンスホテルに移し祝賀会が開催され、薬学部のさらなる発展を誓い合った。

(4) ブランディング・プロジェクトの推進

平成19年度は、東邦大学の視覚イメージの向上および定着を目的に、新しいコミュニケーションマークやステートメント、新デザインをあらゆるアイテム（名刺・封筒・ポスター・大学案内・パンフレット・各施設の看板等）に展開する取り組みを中心に行った。

また、建学の精神である「自然・生命・人間」のコンセプトをわかりやすく伝えるためのコンセプトムービーやコンセプトブックを作成し、特にコンセプトムービーについては、オープンキャンパスをはじめ、学内の会議や研修会、式典等でも上映した。

(5) 株式会社東邦キャンパスサービス

平成12年9月に本法人が100%出資し、資本金20百万円で設立した営利法人である。本法人が保有する資源を積極的に活用し、費用の内部還元、外部資金の獲得を目指し本法人の教育、研究、医療を支援することを目的としている。また、当会社の事業であげた利益は、本法人の教育、研究、医療に役立てている。

第7期（平成18年9月1日～平成19年8月31日）決算は、売上高が44.3億円で前期比プラス19%と今期も順調に業績を伸ばした。事業別では、施設管理部門と物品販売部門の両事業が全体の94%を占め、今期は特に物品販売部門で佐倉病院増床工事や薬学部新棟建設に伴う設備機器類の特需があった。

来期は、東邦グループとの連携をさらに強化し、各部署のニーズにあったサービスを提供してグループの更なる発展に貢献する。

Ⅲ 財務の概要

1 消費収支決算の概要

平成19年度決算は、帰属収入65,405百万円、消費支出64,962百万円で、帰属収支差額は442百万円の黒字となった。前年度決算に比べ黒字幅が627百万円縮小した。また予算上では帰属収支差額を474百万円と見込んでいたため、対予算比では32百万円の未達となった。

基本金は2,450百万円を組入れ、年度末の基本金組入高は119,824百万円となった。尚、2,450百万円の組入れのうち第1号基本金として2,400百万円を組入れ、残りの50百万円は、創立80周年記念で募集した寄付金を原資にして額田奨学基金に組入れた第3号基本金である。その結果、基本金組入後の当年度消費収支差額は2,007百万円の支出超過で、翌年度繰越消費支出超過額は64,953百万円となった。

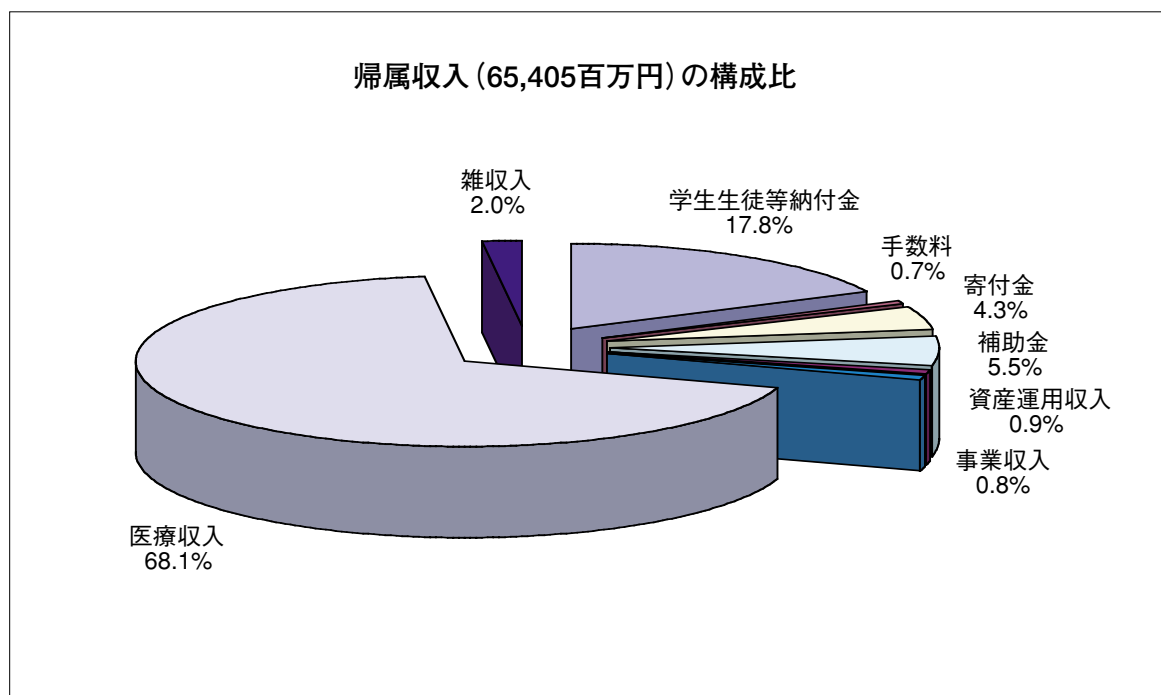
予算（補正後）との対比では、収入においては、補助金、医療収入が予算を下回り、その他は予算を上回った。このうち補助金は大学に対する経常費補助金の交付額が当初予想に比べ減少したため325百万円の未達であった。

医療収入は各病院とも前年度実績を上回る収入を上げたものの、対前年度予算比6.0%アップの予算に対しては、合計で2,078百万円の未達に終わった。学生生徒等納付金は、理学部および付属東邦中高校で学生、生徒数が増加したために20百万円、寄付金は、創立80周年記念の特別寄付金および学生のご父母等からの一般寄付金が増えたため833百万円、雑収入は、退職者の増加に伴う私立大学退職金財団交付金の増額等により379百万円、それぞれ予算を上回っている。

これらの結果、帰属収入合計では補助金および医療収入の落ち込みをカバーできずに、予算を896百万円下回った。

一方、支出では、人件費が予算を414百万円下回ったほか、教育研究経費138百万円、管理経費173百万円、医療材料費も186百万円、それぞれ予算を下回っている。予算を超過した科目では、建物の取り壊しや、老朽化等で使用不能となった機器備品等の固定資産の資産処分差額が予算を442百万円上回った。

これらの結果、消費支出の部合計は865百万円予算を下回る結果となった。また、基本金への組入額では、校地・校舎・機器備品・図書等に対する支出額である第1号基本金への組入額が予算を総額で3,367百万円下回った。



〔消費収入の部〕

(単位:百万円)

科目	予算	決算	帰属収入に対する構成比	差異
学生生徒等納付金	11,610	11,630	17.8%	△ 20
手数料	406	432	0.7%	△ 26
寄付金	1,959	2,792	4.3%	△ 833
補助金	3,912	3,587	5.5%	325
資産運用収入	534	606	0.9%	△ 72
資産売却差額	1	9	0.0%	△ 8
事業収入	353	522	0.8%	△ 169
医療収入	46,601	44,523	68.1%	2,078
雑収入	922	1,301	2.0%	△ 379
帰属収入合計(ア)	66,301	65,405	100.0%	896
基本金組入額合計	△ 5,817	△ 2,450	—	△ 3,367
消費収入の部合計(イ)	60,484	62,954	—	△ 2,470

創立80周年記念寄付金を202百万円、備品等の現物資産を57百万円ご寄付いただいた。

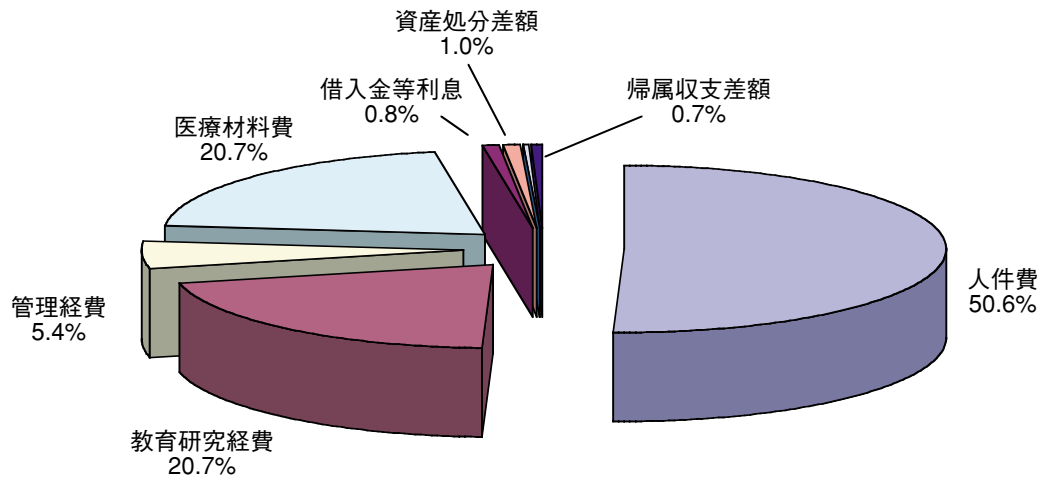
医療収入は佐倉病院増床等の効果により対前年度決算比で3.1%のアップとなったが、予算は未達に終わった。

帰属収入とは、その年度の学校法人の負債とならない収入をいう。従って借入金等はこの収入に含まない。

基本金とは学校運営に必要な資産(土地、建物、備品等)のうち自己資金で調達したものの取得額、あるいは奨学基金等の資産の額をいい、当期は約24億円増加した。

(注) 1.百万円未満切捨て
2.予算額は補正後予算

帰属収入（65,405百万円）に対する消費支出（64,962百万円）の構成比



〔消費支出の部〕

(単位:百万円)

科目	予算	決算	帰属収入に対する構成比	差異
人件費	33,479	33,065	50.6%	414
教育研究経費	13,697	13,559	20.7%	138
管理経費	3,704	3,531	5.4%	173
医療材料費	13,754	13,568	20.7%	186
借入金等利息	573	553	0.8%	20
資産処分差額	222	664	1.0%	△ 442
徴収不能額	22	0	0.0%	22
徴収不能引当金繰入額	75	21	0.0%	54
予備費	297	—	—	297
消費支出の部合計(ウ)	65,827	64,962	99.3%	865
帰属収支差額(ア-ウ)	474	442	0.7%	32
消費収支差額(イ-ウ)	△ 5,342	△ 2,007	—	△ 3,335

人件費比率は前年度比で0.5ポイント低下したが依然として高く、引き続き圧縮に向けて努力していく。

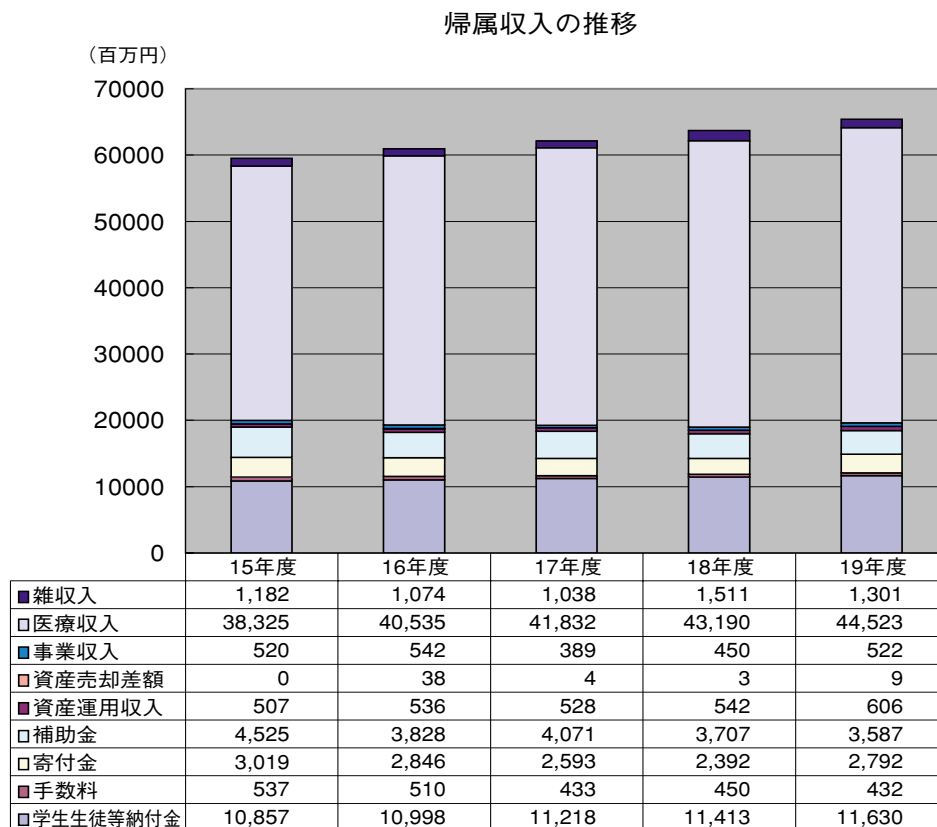
磐梯ロッジの閉鎖、大森病院7号館解体工事等多額の除却損が発生。

企業等の経常利益にあたるもの。

(注) 1.百万円未満切捨て
2.予算額は補正後予算

2 消費収支決算の推移

(1) 帰属収入の推移



ここ5年間の帰属収入の推移を示した。学生生徒等納付金収入は漸増し、一方で補助金収入は頭打ちの傾向にある。平成19年度は佐倉病院の増床工事も完了し、今後は帰属収入の大半を成す医療収入をさらに伸ばすことにより財政基盤の安定化を図っていく。

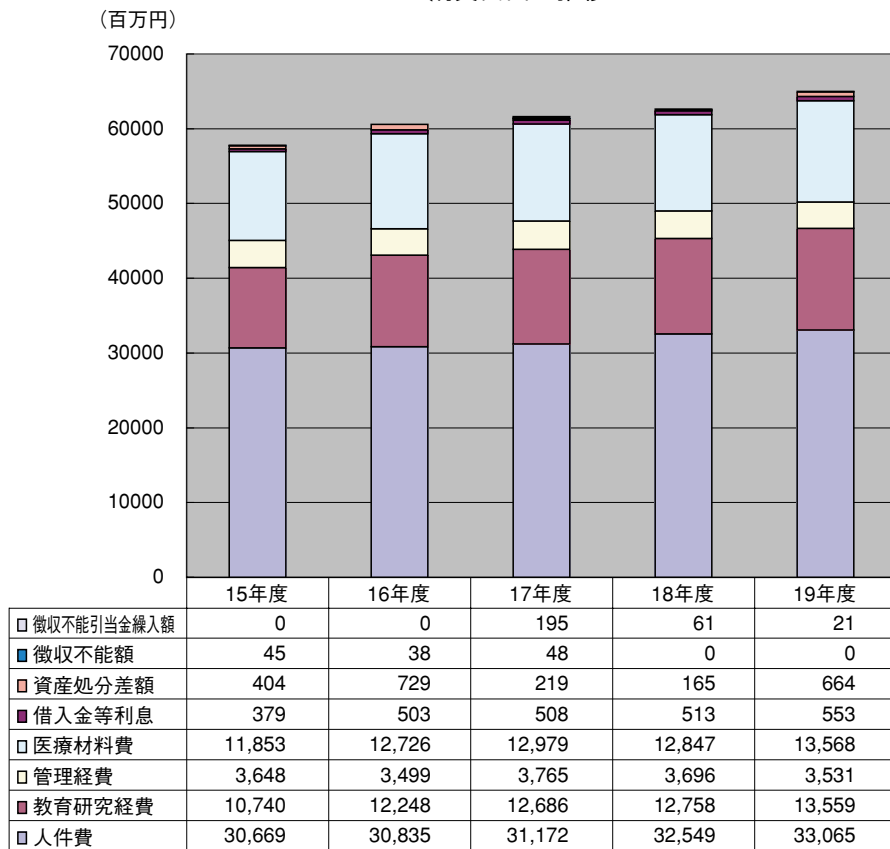
[消費収入の部]

(単位:百万円)

科 目	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	5年間累計
学生生徒等納付金	10,857	10,998	11,218	11,413	11,630	56,116
手 数 料	537	510	433	450	432	2,362
寄 付 金	3,019	2,846	2,593	2,392	2,792	13,642
補 助 金	4,525	3,828	4,071	3,707	3,587	19,718
資 産 運 用 収 入	507	536	528	542	606	2,719
資 産 売 却 差 額	0	38	4	3	9	54
事 業 収 入	520	542	389	450	522	2,423
医 療 収 入	38,325	40,535	41,832	43,190	44,523	208,405
雑 収 入	1,182	1,074	1,038	1,511	1,301	6,106
帰属収入合計(ア)	59,475	60,912	62,110	63,663	65,405	311,565
基本金組入額合計	△ 3,614	△ 2,441	△ 3,251	△ 1,977	△ 2,450	△ 13,733
消費収入の部合計(イ)	55,861	58,471	58,858	61,686	62,954	297,830

(2) 消費支出の推移

消費支出の推移



ここ5年間の消費支出の推移を示した。帰属収入の増加により消費支出全体のボリュームもアップしてきている。本法人の課題である帰属収入に対する人件費比率は、50.6%と昨年度より若干好転した。引き続き50.0%以下を目標に努力を続けていく。また平成19年度は各学部、病院において大型工事が完了したため、それに伴って消耗品費、修理費等が増加した結果、教育研究経費・管理経費合計で636百万円の大幅増加となった。

[消費支出の部]

(単位:百万円)

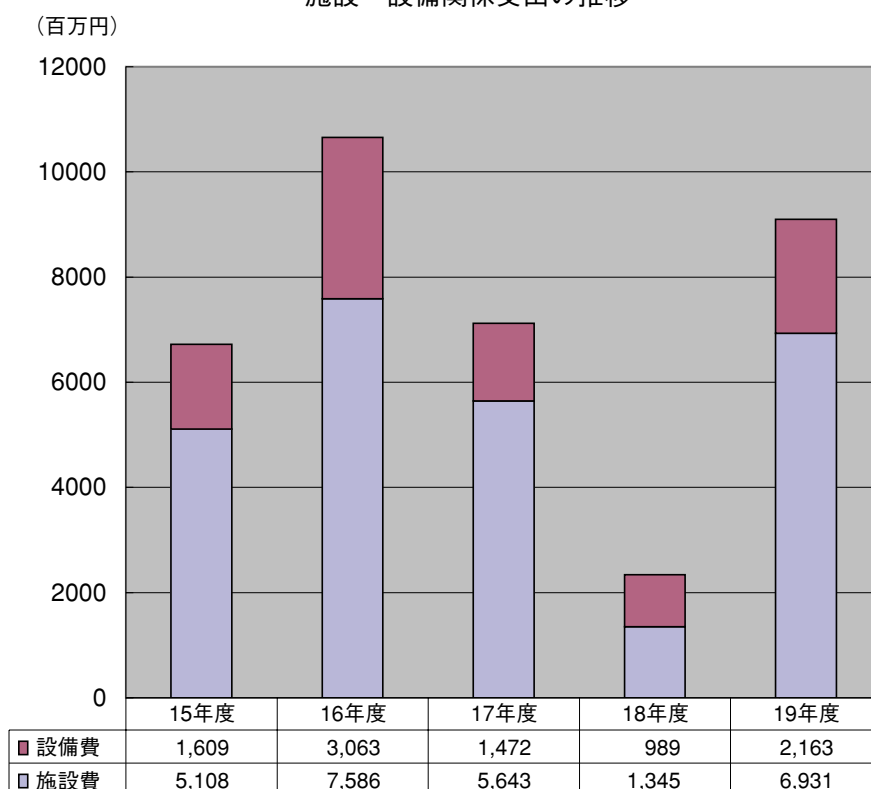
科目	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	5年間累計
人 件 費	30,669	30,835	31,172	32,549	33,065	158,290
教 育 研 究 経 費	10,740	12,248	12,686	12,758	13,559	61,991
管 理 経 費	3,648	3,499	3,765	3,696	3,531	18,139
医 療 材 料 費	11,853	12,726	12,979	12,847	13,568	63,973
借 入 金 等 利 息	379	503	508	513	553	2,456
資 産 処 分 差 額	404	729	219	165	664	2,181
徴 収 不 能 額	45	38	48	0	0	131
徴収不能引当金繰入額	0	0	195	61	21	277
消費支出の部合計(ウ)	57,739	60,581	61,577	62,593	64,962	307,452
帰属収支差額(アーウ)	1,735	331	532	1,069	442	4,109
消費収支差額(イーウ)	△ 1,878	△ 2,109	△ 2,718	△ 907	△ 2,007	△ 9,619

3 設備投資等

本法人は、教学環境の一層の充実と、医療センター3病院等における高度先進医療の推進に向けたインフラ整備に全力を挙げている。

当年度は医学部の3号館建設、解剖実習室改修、実験動物センター改修工事を行った。また昨年度からの継続案件であった大森病院7号館解体とこれに伴う再配置工事、佐倉病院増床工事、薬学部C館建設工事がすべて完了し、平成19年度のキャッシュベースの施設費、設備費の合計では9,094百万円となった。前年度比では6,760百万円増加している。

施設・設備関係支出の推移



(参考)	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
施設・設備費計	6,717	10,649	7,115	2,334	9,094
減価償却額	3,032	3,723	4,010	3,999	3,906

ここ5年間の施設・設備関係支出の推移を示している。平成19年度の施設関係支出は、医学部3号館建設、解剖実習室及び実験動物センター改修工事、大森病院7号館解体に伴う再配置工事、佐倉病院増床工事、薬学部C館建設等により前年度比で大幅に増加した。

4 キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書は、学校法人の諸活動をA. 教育研究活動、B. 施設等整備活動、C. 財務活動に区分し、それぞれの活動区分に対応するキャッシュフローと、事業活動のキャッシュフロー（A+B）および繰越支払資金の増減額（A+B+C＝当年度キャッシュフロー）の状況を明らかにしたものである。

19年度の教育研究活動では4,409百万円の収入超過であるが、施設等整備活動の支出超過8,323百万円に充当され、事業活動のキャッシュフローは3,913百万円の支出超過となった。この支出超過額は、財務活動による収入超過2,624百万円により充当されたが、繰越支払資金が1,289百万円減少することとなった。

以上の結果、次年度繰越支払資金は同額減少した14,760百万円となっている。

(単位：円)

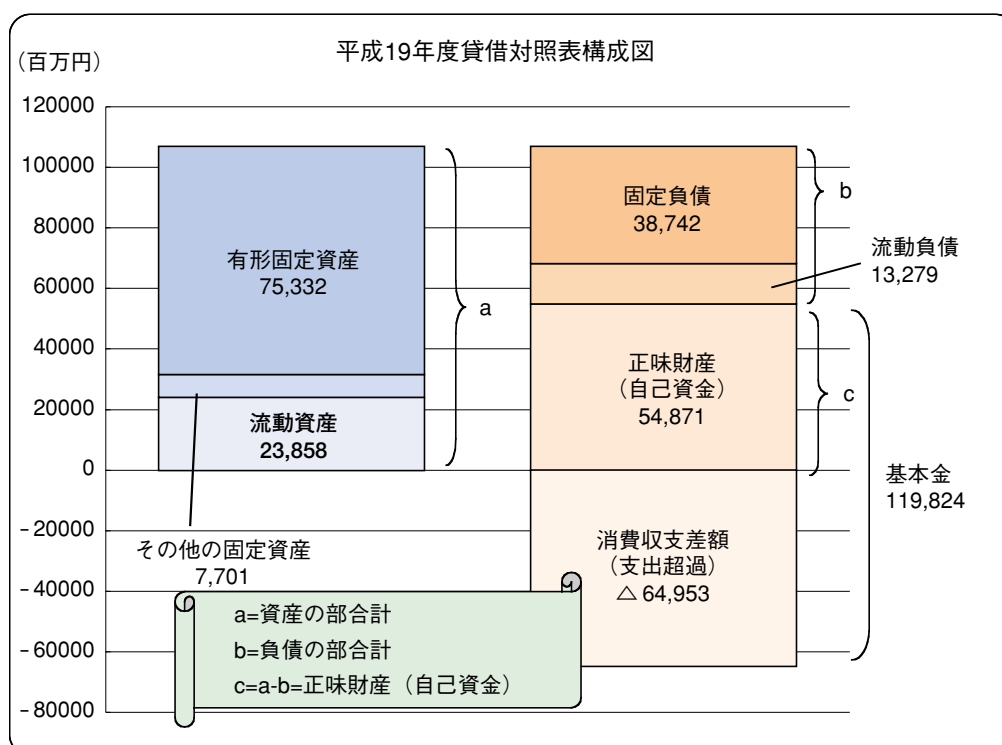
事業活動のキャッシュフロー	
A 教育研究活動のキャッシュフロー	
学生生徒等納付金収入	11,630,232,000
手数料収入	432,297,220
一般寄付金収入	2,497,819,194
日本私立学校振興・共済事業団補助金収入	2,218,141,000
地方公共団体補助金収入	1,100,082,786
日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金収入	0
資産運用収入	606,120,708
事業収入	45,045,991,047
雑収入	1,299,464,629
前受金収入	4,467,613,000
前期末前受金	△ 4,462,445,100
小計	64,835,316,484
人件費支出	33,133,010,451
教育研究経費支出	23,706,141,665
管理経費支出	3,033,287,867
借入金等利息支出	553,337,025
小計	60,425,777,008
教育研究活動のキャッシュフロー	4,409,539,476
B 施設等整備活動のキャッシュフロー	
特別寄付金収入	237,439,397
その他国庫補助金収入	269,066,749
不動産売却収入	0
前期末未収入金収入	7,716,023,160
期末未収入金	△ 7,775,460,736
小計	447,068,570
施設関係支出	6,931,954,274
設備関係支出	2,163,060,881
手形債務支払支出	0
前期末未払金支払支出	4,803,701,864
期末未払金	△ 5,116,823,001
前払金支払支出	127,644,909
前期末前払金	△ 138,998,824
小計	8,770,540,103
施設等整備活動のキャッシュフロー	△ 8,323,471,533
事業活動のキャッシュフロー	△ 3,913,932,057
C 財務活動のキャッシュフロー	
有価証券売却収入	8,600,000,000
その他資産売却収入	2,500,031,500
借入金等収入	10,250,000,000
引当特定預金（資産）からの繰入収入	0
その他収入	918,111,514
その他収入調整勘定	0
小計	22,268,143,014
借入金等返済支出	7,087,860,000
資産運用支出	11,548,992,944
その他支払支出	1,139,884,694
その他支出調整勘定	△ 133,010,448
小計	19,643,727,190
財務活動のキャッシュフロー	2,624,415,824
繰越支払資金の増減額	△ 1,289,516,233
前年度繰越支払資金	16,050,386,890
次年度繰越支払資金	14,760,870,657

5 貸借対照表

(1) 貸借対照表

平成19年度末の総資産は106,892百万円で、前年度に比べ3,776百万円増加した。負債は52,021百万円で前年度比3,333百万円増加している。そのうち、借入金は佐倉病院の増床に係る長期設備資金5,050百万円の新規借入があり前年度比3,162百万円残高が増加した。

総資産から負債を差引いた正味財産（自己資金）は54,871百万円となり、442百万円前年度から増加となっている。



(2) 貸借対照表の推移

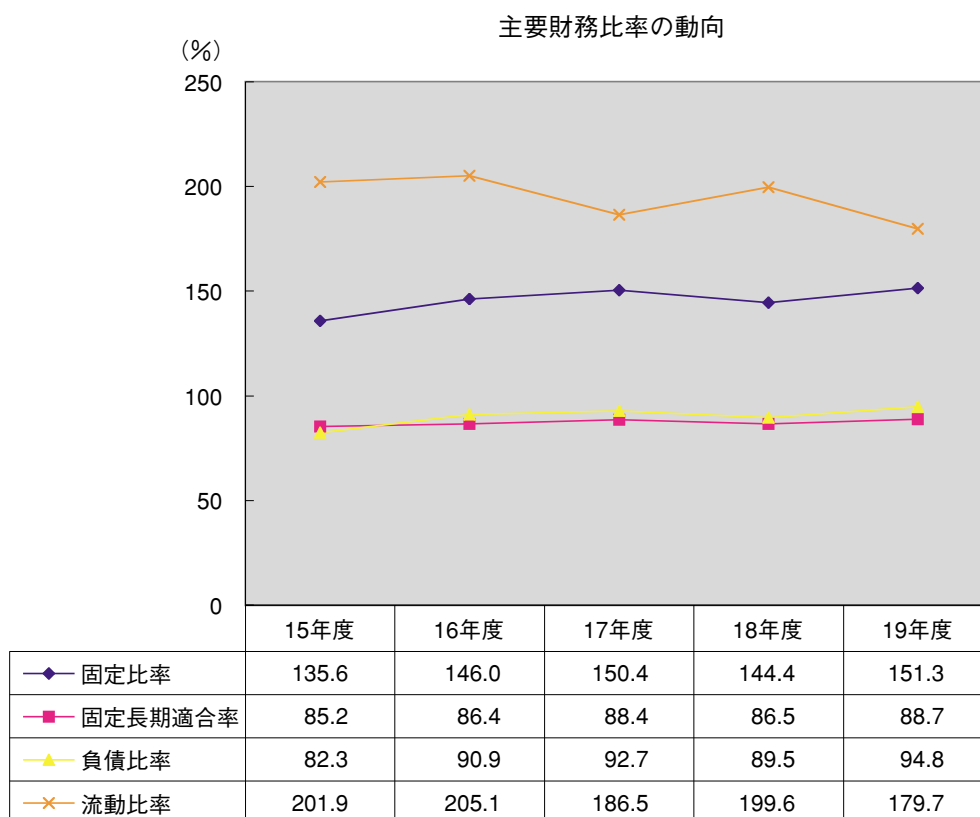
(単位:百万円)

科目	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	5年間増減
固定資産	71,187	77,137	80,230	78,590	83,034	20,307
うち有形固定資産	62,520	68,850	71,970	70,755	75,332	16,178
有価証券	3,716	3,319	3,319	3,420	2,719	1,109
指定金銭信託	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
流動資産	24,490	23,714	22,594	24,525	23,858	△ 5,586
うち現金預金	17,091	15,730	14,519	16,050	14,760	△ 6,858
未収入金	7,176	7,008	7,273	7,844	7,880	836
有価証券	95	896	399	398	1,000	401
資産の部合計	95,677	100,852	102,824	103,116	106,892	14,721
再掲(現預金+長・短有価証券合計)	(23,902)	(22,945)	(21,238)	(22,869)	(21,480)	(△ 2,348)
固定負債	31,055	36,462	37,349	36,398	38,742	8,868
うち長期借入金	11,800	16,897	17,712	16,825	19,237	8,418
退職給与引当金	19,254	19,564	19,636	19,573	19,505	451
流動負債	12,128	11,564	12,116	12,289	13,279	1,741
うち短期借入金	2,219	1,681	1,787	1,887	2,637	637
未払金	4,856	4,802	5,029	4,803	5,116	556
前受金	4,251	4,237	4,351	4,466	4,472	224
負債の部合計	43,183	48,026	49,466	48,687	52,021	10,609
再掲(長・短借入合計)	(14,019)	(18,578)	(19,500)	(18,712)	(21,875)	(9,055)
基本金	109,734	112,175	115,397	117,374	119,824	13,705
消費収支差額	△ 57,239	△ 59,349	△ 62,038	△ 62,945	△ 64,953	△ 9,593
負債・基本金・消費収支差額の部合計	95,677	100,852	102,824	103,116	106,892	14,721
正味財産(自己資金)	52,494	52,826	53,358	54,428	54,871	4,113

(注) 百万円未満切捨て

ここ5年間の貸借対照表の推移を示した。ここ数年の投資により固定資産は順調に増加してきている。その多くを借入金による取得としたために借入金の残高は平成15年度に比して約78億円の増加となったが、平成19年度をピークに投資案件が一段落するので以降は全学一丸となってバランスシートの改善に注力していく。

(3) 主要財務比率の動向



本法人の財務の健全性を分析するために安全性分析のための指標を示した。

固定比率 (%) : 固定資産 ÷ 正味財産 × 100

固定資産のうちどの程度が自己資金で賄われているかを示す指標で低いほど良いとされている。

固定長期適合率 (%) : 固定資産 ÷ (正味財産 + 固定負債) × 100

固定資産のうちどの程度が自己資金と長期の借入金で賄われているかを示す指標である。低いほど良いとされている。

負債比率 (%) : 総負債 ÷ 正味財産 × 100

返済義務のある他人資金がどれだけ返済義務のない自己資金でカバーされているかを示し、低いほど財務の安定性が高いといえる。

流動比率 (%) : 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

流動比率とは、安全性分析の一指標で、流動負債（1年以内に返済すべき負債）を流動資産（短期間で換金可能な資産）がどの程度カバーしているかを示す比率である。この比率が高い程短期的な資金繰りに余裕があることを示す。

6 財産目録

平成20年3月31日現在

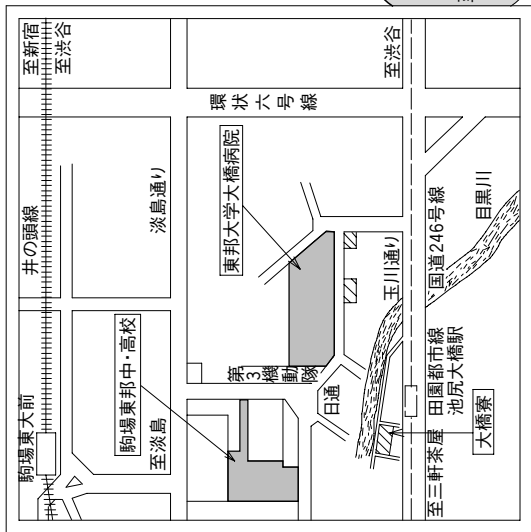
I 資産総額	106,892,479,524円
内 基本財産	83,034,072,458円
運用財産	23,858,407,066円
II 負債総額	52,021,374,108円
III 正味財産	54,871,105,416円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	317,521.13m ² 6,621,519,774円
建物	321,807.39m ² 54,073,086,956円
図書	581,852冊 5,971,607,135円
教具・校具・備品	56,390点 7,074,187,270円
その他	9,293,671,323円
2 運用財産	
現金預金	14,760,870,657円
未収入金	7,880,882,314円
短期貸付金	4,320,000円
有価証券	1,000,547,000円
前払金	144,653,732円
その他	67,133,363円
資 産 総 額	106,892,479,524円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	19,237,170,000円
退職給与引当金	19,505,033,896円
2 流動負債	
短期借入金	2,637,860,000円
その他	10,641,310,212円
負 債 総 額	52,021,374,108円
正味財産（資産総額－負債総額）	54,871,105,416円

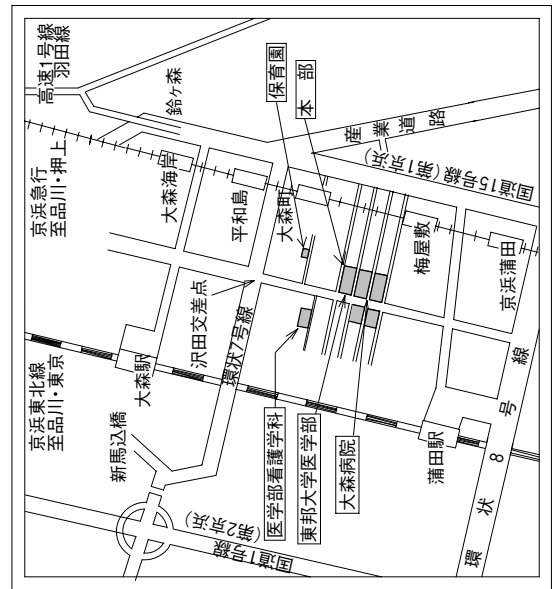
学校法人東邦大学所在地一覧

法人本部 学事統括部 大学院医学研究科 医学部医学科 大森学事部	143-8540	大田区大森西5-21-16	03(3762)4151(大代)
医学部看護学科	143-0015	大田区大森西4-16-20	
医療センター 大森病院	143-8540	大田区大森西6-11-1	
保育園	143-0015	大田区大森西5-3-15	
羽田空港クリニック	144-0041	大田区羽田空港3-4-2	03(6428)8121
医療センター 大橋病院	153-8515	目黒区大橋2-17-6	03(3468)1251(代)
医療センター 佐倉病院	285-8741	佐倉市下志津564-1	043(462)8811(代)
大学院薬学研究科 大学院理学研究科 薬学部 理学部 習志野学事部	274-8510	船橋市三山2-2-1	047(472)9199(代)
東邦大学附属 東邦中・高校	275-8511	習志野市泉町2-1-37	047(472)8191~2
駒場東邦 中・高校	154-0001	世田谷区池尻4-5-1	03(3466)8221~3
佐倉看護専門学校	285-0841	佐倉市下志津292-13	043(462)8811(代)
軽井沢山荘	389-0112	長野県北佐久郡軽井沢町中軽井沢	0267(45)5900

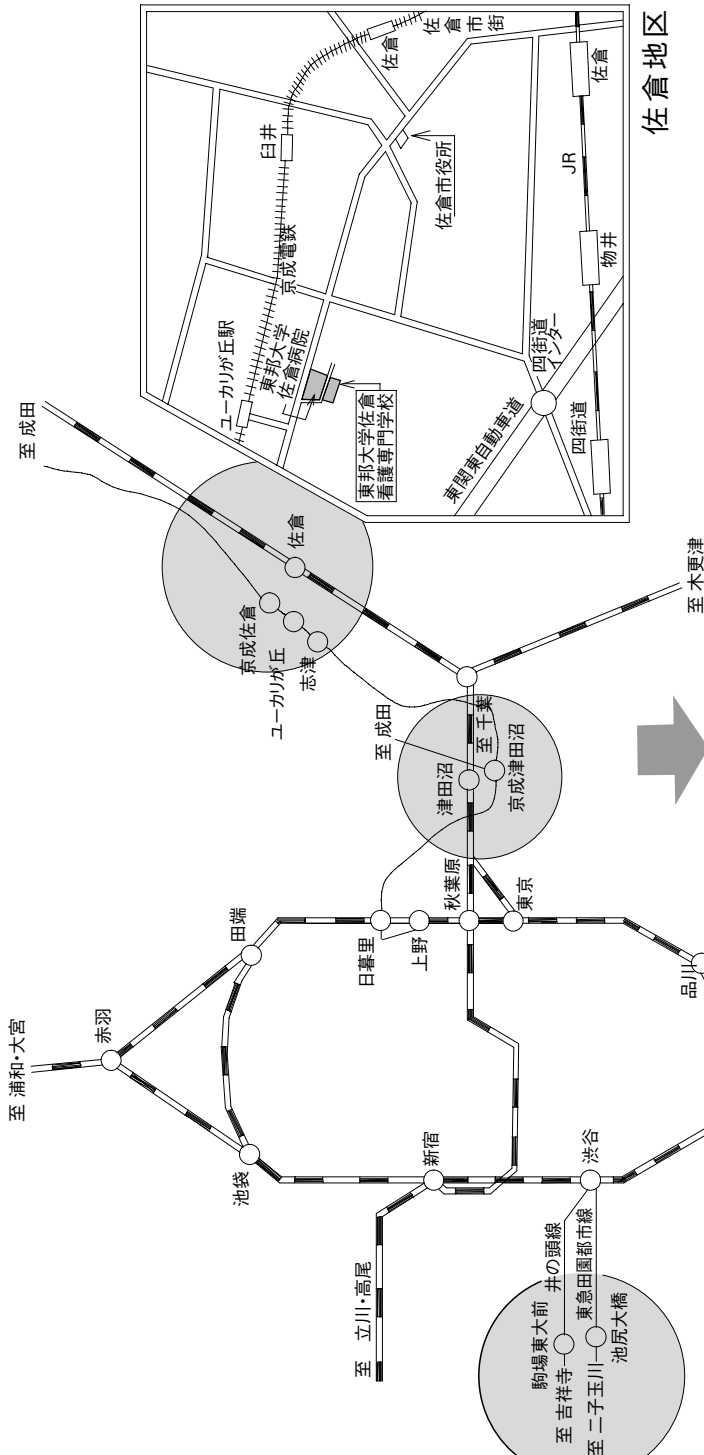
東邦大学キャンパス案内図



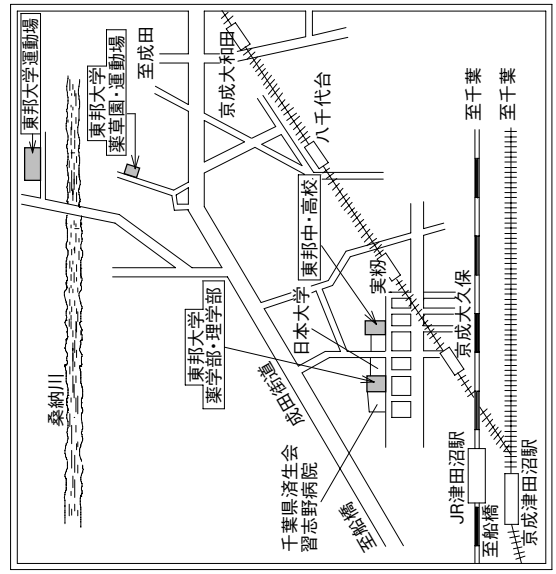
駒場・大橋地区



大森地区



佐倉地区



習志野・八千代地区

平成19年度 事業報告書

平成20年9月1日発行

学校法人東邦大学 法人本部総務部

〒143-8540

東京都大田区大森西5-21-16

03-3762-4151 内線2132・2128



東邦大学